

## プログラム

## 会長講演

座長：三村 将（慶應義塾大学医学部精神神経科学教室）

- PL 前頭葉の可塑性と社会復帰への道……………32  
 椿原 彰夫（つばはら あきお）  
 川崎医療福祉大学

## 特別講演 1

座長：森 悦朗（大阪大学大学院連合小児発達学研究所行動神経学・神経精神医学寄附講座）

- SL1 姿勢歩行制御における認知処理プロセスの関与～リハビリテーションへの応用～……………34  
 三原 雅史（みはら まさひと）  
 川崎医科大学神経内科学

## 特別講演 2

座長：松田 実（清山会いずみの杜診療所）

- SL2 失語をみる視点：最近のトピックス……………36  
 大槻 美佳（おおつき みか）  
 北海道大学大学院保健科学研究院

## 特別講演 3

座長：立石 雅子（日本言語聴覚士協会）

- SL3 日本語の特性と失語症セラピーのあり方……………38  
 小嶋 知幸（こじま ともゆき）  
 武蔵野大学大学院人間社会研究科／市川高次脳機能障害相談室

## 特別講演 4

座長：西林 宏起（和歌山県立医科大学脳神経外科学講座）

- SL4 皮質脳波を用いた四次元脳機能マッピング……………40  
 中井 康雄（なかい やすお）  
 和歌山県立医科大学脳神経外科学講座

## 特別講演 5

座長：平岡 崇（川崎医科大学リハビリテーション医学教室）

- SL5 高次脳機能障害者の医療と福祉における意思決定支援……………42  
 白山 靖彦<sup>1</sup>（しらやま やすひこ）、北村 美渚<sup>2</sup>、伊賀上 舞<sup>3</sup>、木戸 保秀<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究所、<sup>2</sup>稲次病院、<sup>3</sup>松山リハビリテーション病院

特別講演 6

座長：蜂須賀研二（九州労災病院門司メディカルセンター）

- SL6 高次脳機能障害と自動車運転 .....44  
加藤 徳明（かとう のりあき）  
産業医科大学若松病院リハビリテーション科

特別講演 7

座長：平山 和美（山形県立保健医療大学作業療法学科）

- SL7 高次脳機能障害と就労について .....46  
後藤 祐之（ごとう ひろゆき）  
川崎医療福祉大学医療福祉学部

招聘講演 1

座長：青木 重陽（神奈川リハビリテーション病院リハビリ科第二）

- IL1 Holistic Neuropsychological Rehabilitation: what is possible online? .....48  
Andrew Bateman  
NIHR East of England Research Design Service, School of Health and Social Care, University of Essex

招聘講演 2

座長：中村 光（岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科）

- IL2 Addressing outcomes that are important to people with aphasia and making a difference in quality of life .....50  
Katerina Hilari  
Joint Research Centre Lead, Language and Communication Science, City University of London

教育講演 1

座長：鈴木 匡子（東北大学大学院医学系研究科高次脳機能障害学分野）

- EL1 リハビリテーション臨床における高次脳機能障害 .....52  
前島 伸一郎（まえしま しんいちろう）  
金城大学

教育講演 2

座長：櫻井 靖久（三井記念病院神経内科）

- EL2 半側空間無視－病巣論・メカニズム論・治療法アップデートー .....54  
石合 純夫（いしあい すみお）  
札幌医科大学医学部リハビリテーション講座

教育講演 3

座長：武田 克彦（文京認知神経科学研究所）

- EL3 分配性注意と二重課題 .....56  
豊倉 穰（とよくら みのる）  
東海大学大磯病院リハビリテーション科

## 教育講演 4

座長：佐藤 睦子（総合南東北病院神経心理学研究部門）

- EL4 認知症の生活・活動障害 .....58  
 大沢 愛子（おおさわ あいこ）  
 国立長寿医療研究センター

## 教育講演 5

座長：深津 玲子（国立障害者リハビリテーションセンター学院）

- EL5 ひらがなはいつまでにどれだけ習得されるのか？—ひらがな習得に関するレディネス .....60  
 宇野 彰<sup>1,2</sup>（うの あきら）  
<sup>1</sup>筑波大学人間系、<sup>2</sup>NPO 法人 LD・Dyslexia センター

## 教育講演 6

座長：中川 賀嗣（北海道医療大学リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科）

- EL6 小児の遂行機能と発達障害 .....62  
 坂爪 一幸（さかつめ かずゆき）  
 早稲田大学教育・総合科学学術院教育心理学教室

## 教育講演 7

座長：種村 留美（神戸大学大学院保健学研究科保健学専攻）

- EL7 運動制御の理論モデルを背景にした神経心理学症状の理解 .....64  
 福澤 一吉（ふくざわ かずよし）  
 早稲田大学文学学術院文学部心理学コース

## 教育講演 8

座長：池田 学（大阪大学大学院医学系研究科精神医学分野）

- EL8 記憶の評価と記憶障害 .....66  
 数井 裕光（かずい ひろあき）  
 高知大学医学部神経精神科学講座

## 教育講演 9

座長：福井 俊哉（医療法人花咲会かわさき記念病院）

- EL9 認知症患者の食の問題を考える .....68  
 品川 俊一郎（しながわ しゅんいちろう）  
 東京慈恵会医科大学精神医学講座

- SY1 外傷性脳損傷での社会的行動障害の特徴と支援** .....70  
上田 敬太（うえだ けいた）  
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学（精神医学）
- SY2 小児脳腫瘍における高次脳機能障害とその支援** .....71  
温井 めぐみ（ぬくい めぐみ）  
大阪市立総合医療センター
- SY3 小児後天性脳損傷の社会的行動障害** .....72  
吉橋 学（よしはし まなぶ）  
神奈川リハビリテーション病院小児科
- SY4 もやもや病における高次脳機能障害の特徴と支援** .....73  
草野 佑介<sup>1</sup>（くさの ゆうすけ）、西田 野百合<sup>1</sup>、田中 かなで<sup>1</sup>、舟木 健史<sup>2</sup>、  
上田 敬太<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 京都大学医学部附属病院リハビリテーション部、<sup>2</sup> 京都大学大学院医学研究科脳神経外科、  
<sup>3</sup> 京都大学大学院医学研究科精神医学
- SY5 入所・通所訓練施設における重症例の支援** .....74  
小西川 梨紗（こにしかわ りさ）  
社会福祉法人グロー滋賀県高次脳機能障害支援センター

- 1-1 左前頭葉梗塞にてゲルストマン症候群を呈した一例 ……………77  
 田邊 信彦<sup>1</sup> (たなべ のぶひこ)、持田 純至<sup>1</sup>、藤田 侑子<sup>1</sup>、中川 円香<sup>1</sup>、日向 絢子<sup>1</sup>、  
 佐藤 岳史<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 市立長浜病院リハビリテーション技術科、<sup>2</sup> 市立長浜病院脳神経外科
- 1-2 疼痛に関連して出現する余剰幻肢を認めた慢性期の被殻出血例 ……………77  
 勝浦 駿平<sup>1,2</sup> (かつうら しゅんぺい)、小島 虎太郎<sup>1</sup>、太田 久晶<sup>2,3</sup>、石合 純夫<sup>1,4</sup>  
<sup>1</sup> 札幌医科大学附属病院リハビリテーション部、<sup>2</sup> 札幌医科大学大学院保健医療学研究科、  
<sup>3</sup> 札幌医科大学保健医療学部作業療法学科、  
<sup>4</sup> 札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座
- 1-3 親密度に応じた相貌の認知障害を認め、アルツハイマー型認知症と考えられた一例 ……………78  
 金子 清佳<sup>1</sup> (かねこ さやか)、石原 健司<sup>2</sup>、高橋 伸佳<sup>2</sup>、旭 俊臣<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 旭神経内科リハビリテーション病院リハビリテーション科、  
<sup>2</sup> 旭神経内科リハビリテーション病院神経内科
- 1-4 検査場面と生活場面で乖離が見られた不全型 Balint-Holmes 症候群例の改善要因について …78  
 中島 裕也<sup>1</sup> (なかじま ゆうや)、河村 民平<sup>2,4</sup>、北岡 佑磨<sup>3</sup>、斉藤 敏恵<sup>1</sup>、小林 康孝<sup>2,4</sup>  
<sup>1</sup> 福井総合クリニックリハビリテーション課作業療法室、  
<sup>2</sup> 福井医療大学保健医療学部リハビリテーション学科、  
<sup>3</sup> 福井総合病院リハビリテーション課言語聴覚療法室、<sup>4</sup> 福井県高次脳機能障害支援センター
- 1-5 左後頭側頭葉腫瘍摘出後に腹側型同時失認を呈した一例に対する視線計測の試み ……………79  
 田畑 阿美<sup>1</sup> (たばた あみ)、荒川 芳輝<sup>2</sup>、馬場 千夏<sup>3</sup>、上田 敬太<sup>4</sup>、植野 司<sup>5</sup>、  
 加藤 寿宏<sup>1</sup>、村井 俊哉<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻、<sup>2</sup> 京都大学医学部附属病院脳神経外科、  
<sup>3</sup> 京都大学医学部附属病院リハビリテーション部、<sup>4</sup> 京都大学大学院医学研究科精神医学、  
<sup>5</sup> 京都大学医学部附属病院精神科神経科
- 1-6 精神性注視麻痺および視覚性注意障害を呈した症例の介入経過  
 ～買い物自立に向けた自立訓練での実践報告～ ……………79  
 西埜 和希<sup>1</sup> (にしのかずき)、福井 由香里<sup>1</sup>、太田 貴奈<sup>1</sup>、清水 大輔<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 大阪府立障がい者自立センター自立支援課、<sup>2</sup> 兵庫医療大学リハビリテーション学部
- 1-7 地誌的見当識障害の代償手段の検討  
 一環境に対する自己の方向定位を記述したメモが有効であった一例ー ……………80  
 甲斐 祥吾<sup>1</sup> (かい しょうご)、野村 心<sup>1</sup>、吉川 公正<sup>1,2</sup>、中島 恵子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup> 遠賀中間医師会おかがき病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup> 京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科
- 1-8 Rey の複雑図形と立方体透視図模写の検査特性の検討ー脳損傷患者と認知症患者の比較からー  
 ……………80  
 官澤 紗<sup>1</sup> (かざわ さやか)、金子 真人<sup>2,3</sup>、香月 静<sup>1</sup>、佐野 剛雅<sup>2,3,4</sup>、諸澤 瞬人<sup>1</sup>、  
 立野 麻美<sup>4</sup>、宮城 伊吹<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 江戸川メディケア病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 国士舘大学大学院人文科学研究科、  
<sup>3</sup> NPO 法人 LD・Dyslexia センター、<sup>4</sup> 多摩北部医療センターリハビリテーション科

## 一般演題 2：半側無視・右半球症候

- 2-1 脳出血後に左半側空間無視を呈した小児一症例の経過……………81  
宮崎 彰子<sup>1,2</sup> (みやざき あきこ)、川崎 美香<sup>1</sup>、八木 真美<sup>1</sup>、種村 純<sup>1,2</sup>、金丸 詩門<sup>3</sup>、  
平岡 崇<sup>3</sup>、花山 耕三<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup>川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科、  
<sup>3</sup>川崎医科大学リハビリテーション医学教室
- 2-2 右被殻出血後に身体パラフレニアを呈した一症例……………81  
堀池 瑞季<sup>1</sup> (ほりいけ みずき)、渡邊 はづき<sup>2</sup>、犬飼 晃見<sup>1</sup>、田中 まゆ<sup>1</sup>、村瀬 完太<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>名古屋第一赤十字病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>名古屋第一赤十字病院脳神経内科
- 2-3 Facial Action Coding System を用いた左右半球損傷者の表情分析  
—感情喚起効果別表情表出の検討—……………82  
小浜 尚也 (おばま なおや)、種村 純  
川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科

## 一般演題 3：半側無視 視覚性訓練

- 3-1 左半側空間無視患者の文章音読に改行位置が及ぼす影響：視線計測を用いた検討……………82  
川崎 美里<sup>1</sup> (かわさき みさと)、阿部 晶子<sup>2</sup>、橋本 律夫<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>国際医療福祉大学病院リハビリテーション室、<sup>2</sup>国際医療福祉大学言語聴覚学科、  
<sup>3</sup>国際医療福祉大学病院脳神経内科
- 3-2 左半側空間無視患者の左視野を遮蔽した訓練と認知訓練との経時的変化の報告……………83  
藤森 禎子<sup>1,2</sup> (ふじもり さちこ)、河野 禎之<sup>3</sup>、吉野 真理子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>河北リハビリテーション病院セラピー部、  
<sup>2</sup>筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻リハビリテーションコース、  
<sup>3</sup>筑波大学人間系
- 3-3 対象中心性無視に対して既成概念の活用が有効であった一例……………83  
西 友希 (にし ともき)、細見 亮太、大谷 武史、徳澤 勝也  
医療法人仁寿会石川病院リハビリテーション部
- 3-4 左半側空間無視における机上検査と日常動作の関連……………84  
尾崎 新平<sup>1,2,3</sup> (おさき しんぺい)、網本 和<sup>3</sup>、田邊 淳平<sup>3</sup>、吉弘 奈央<sup>3</sup>、宮崎 泰広<sup>1,2</sup>、  
恵飛須 俊彦<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>関西電力病院リハビリテーション部、<sup>2</sup>関西電力医学研究所リハビリテーション医学研究部、  
<sup>3</sup>東京都立大学大学院人間健康科学研究科
- 3-5 左半側空間無視に対し空間性注意機能に着目した段階的アプローチにより生活機能の改善に  
繋がった一例……………84  
松岡 和幸<sup>1</sup> (まつおか かずゆき)、本田 佳李<sup>1</sup>、横関 彩佳<sup>1</sup>、小浜 尚也<sup>2</sup>、伊勢 眞樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>医療法人誠和会倉敷記念病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科

## 一般演題 4：半側無視 行動的訓練

- 4-1 回復期病棟における時期的特性を捉えた治療により行動性の左半側空間無視症状が改善した一症例……………85  
 田村 実子<sup>1</sup> (たむら みこ)、澤 広太<sup>1,2</sup>、福岡 宏之<sup>1</sup>、末永 達也<sup>1</sup>、宮上 光祐<sup>1</sup>、網本 和<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 竹の塚脳神経リハビリテーション病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 東京都立大学大学院人間健康科学研究科理学療法科学域
- 4-2 対象中心性無視を呈した症例に対する手指の運動覚を利用した意識空間拡大の試み……………85  
 菅原 光晴<sup>1</sup> (すがわら みつはる)、前田 眞治<sup>2</sup>、原 麻理子<sup>3</sup>、山本 潤<sup>4</sup>、近藤 智<sup>5</sup>  
<sup>1</sup> 清仲会ふじの温泉病院、<sup>2</sup> 国際医療福祉大学大学院、  
<sup>3</sup> 国際医療福祉大学福岡保健医療学部作業療法学科、  
<sup>4</sup> 国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科、  
<sup>5</sup> 厚木市立病院リハビリテーション技術科
- 4-3 Posner 課題における機能的電気刺激の影響……………86  
 吉弘 奈央<sup>1,2</sup> (よしひろ なお)、網本 和<sup>2</sup>、尾崎 新平<sup>2,3</sup>、田邊 淳平<sup>2,4</sup>  
<sup>1</sup> 関西医療大学保健医療学部作業療法学科、  
<sup>2</sup> 東京都立大学大学院人間健康科学研究科理学療法科学域、  
<sup>3</sup> 関西電力病院リハビリテーション部、<sup>4</sup> 倉敷リハビリテーション病院リハビリテーション部
- 4-4 pitch 角に着目した Head Mounted Display アダプテーションが空間認知・立位バランス・起立動作に及ぼす影響……………86  
 市川 恭兵<sup>1,2</sup> (いちかわ きょうへい)、網本 和<sup>2</sup>、沼尾 拓<sup>2,3</sup>、馬場 志<sup>1</sup>、香取 秀一<sup>1</sup>、星野 泰地<sup>1</sup>、嶺村 圭<sup>1</sup>、大竹 史織<sup>1</sup>、藤田 夏那<sup>1</sup>、藤本 恵里菜<sup>1</sup>、緒方 浩香<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 新座病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 東京都立大学人間健康科学研究科理学療法科学域、  
<sup>3</sup> 専門学校社会医学技術学院理学療法学科
- 4-5 バーチャル空間を用いた半側空間無視治療支援システムにおける可動スリットの効果検証……………87  
 藤本 侑子<sup>1</sup> (ふじもと ゆうこ)、室井 大佑<sup>1</sup>、小森 瑞樹<sup>1</sup>、安田 和弘<sup>2</sup>、佐武 陸史<sup>2</sup>、岩田 浩康<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 亀田リハビリテーション病院リハビリテーション室、<sup>2</sup> 早稲田大学理工学術院総合研究所、  
<sup>3</sup> 早稲田大学創造理工学研究科総合機械工学専攻

## 一般演題 5：失行

- 5-1 口頭指示と動作模倣における認知能力の違いについて……………87  
 幸田 永<sup>1</sup> (こうだ はるか)、日高 みどり<sup>1</sup>、三宅 正大<sup>1</sup>、寺崎 裕亮<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 糸島医師会病院、<sup>2</sup> 医療法人豊栄会福岡豊栄会病院
- 5-2 機械学習 Deep Lab Cut を用いた失行検査定量化の試み……………88  
 安藤 瑠称<sup>1</sup> (あんどう るな)、加藤 南<sup>1</sup>、花田 恵介<sup>2</sup>、板口 典弘<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 静岡大学情報学部、<sup>2</sup> 穂翔会村田病院リハビリテーション部

- 5-3 背部操作が拙劣な着衣障害の要因 .....88  
 山本 潤<sup>1</sup> (やまもと じゅん)、前田 眞治<sup>2</sup>、菅原 光晴<sup>3</sup>、原 麻理子<sup>4</sup>、近藤 智<sup>5</sup>、  
 津嶋 かれん<sup>2,5</sup>、新山 祐貴<sup>6</sup>、鈴木 北斗<sup>7</sup>、掬川 晃一<sup>8</sup>  
<sup>1</sup> 国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科、  
<sup>2</sup> 国際医療福祉大学大学院リハビリテーション学分野、  
<sup>3</sup> ふじの温泉病院リハビリテーション科、<sup>4</sup> 国際医療福祉大学福岡保健医療学部作業療法学科、  
<sup>5</sup> 厚木市立病院リハビリテーション技術科、<sup>6</sup> 小田原市立病院リハビリテーション室、  
<sup>7</sup> 座間総合病院リハビリテーション科、  
<sup>8</sup> 花はたりリハビリテーション病院リハビリテーション科
- 5-4 着衣障害に対する早期作業療法の有効性 .....89  
 大西 友香 (おおにし ともか)、森脇 繁登、佐藤 千晃、伊藤 路子、後藤 雪絵、  
 石田 史穂、稗田 朝海、奥野 智寛  
 島根大学医学部附属病院リハビリテーション部
- 5-5 靴を履く動作困難に運動観察療法が有効であった失行症例—シングルケースデザイナー— …89  
 井手 大輔 (いで だいすけ)、片山 薫  
 千葉みなとりリハビリテーション病院
- 5-6 左頭頂葉病変により箸操作能力の低下した一症例 .....90  
 永野 達郎 (ながの たつろう)  
 徳島県立海部病院医療技術局リハビリテーション技術科
- 5-7 失行症例における道具使用障害に関連する要因の検討 .....90  
 大野 泰輔<sup>1,2</sup> (おおの たいすけ)、磯野 理<sup>3</sup>、種村 留美<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 京都市民連あすかい病院リハビリテーション部、<sup>2</sup> 神戸大学大学院保健学研究科、  
<sup>3</sup> 京都市民連あすかい病院神経内科・リハビリテーション科

#### 一般演題 6：前頭葉性動作障害

- 6-1 左前大脳動脈領域の脳梗塞および左頭頂葉皮質下出血により、両手に異常行動を呈した一症例 .....91  
 藤田 純平<sup>1</sup> (ふじた じゅんぺい)、黒須 咲良<sup>1</sup>、山田 悟志<sup>1</sup>、長嶋 理恵子<sup>1</sup>、  
 日下部 みどり<sup>1</sup>、中条 朋子<sup>1</sup>、齋藤 久子<sup>2</sup>、上村 和也<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 筑波メディカルセンター病院リハビリテーション療法科、  
<sup>2</sup> 筑波メディカルセンター病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup> 筑波メディカルセンター病院脳神経外科
- 6-2 利用行動 (Utilization behavior) が疑われる症状が下肢にも観察された一例 .....91  
 岡本 淳志 (おかもと あつし)、溝部 佳史、川原 薫、山中 崇  
 福山リハビリテーション病院リハビリテーション部
- 6-3 Action disorganization syndrome を呈した事例に対するトイレ動作の獲得に向けた介入 …92  
 池上 正斗 (いけがみ まさと)、池上 俊作  
 伊那中央病院リハビリテーション技術科
- 6-4 右前頭葉面損傷により左手に限局した一過性の行為異常が見られた一例 .....92  
 大和 吉郎 (やまと よしろう)、山桑 淑子  
 岩手県立磐井病院リハビリテーション技術科

- 6-5 右上肢に左半側空間無視と左下肢に運動開始困難を認めた脳梁離断症候群の一例 ……93  
 稲田 雅也<sup>1</sup> (いなだ まさなり)、山岸 誠<sup>1</sup>、村上 照美<sup>1</sup>、松宮 美奈<sup>1</sup>、中村 健<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>横浜市立大学附属病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>横浜市立大学医学部リハビリテーション科学教室
- 6-6 脳出血後に認めた非麻痺側上下肢の運動異常によりリハビリテーションに難渋した症例 ……93  
 今田 泰裕<sup>1,2</sup> (いまだ やすひろ)、備酒 睦子<sup>1</sup>、三浦 靖史<sup>2</sup>、中嶋 千也<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>神戸掖済会病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>神戸大学大学院保健学研究科、  
<sup>3</sup>神戸掖済会病院脳神経外科

一般演題 7：失語症症候
--------------

- 7-1 Broca 失語における動詞喚語の障害特性の検討 ……94  
 岩田 晃典<sup>1</sup> (いわた あきのり)、藤田 郁代<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>元 済生会湘南平塚病院リハビリテーション技術科、  
<sup>2</sup>国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科
- 7-2 語想起課題の継時的評価における産出単語の時間情報・頻度情報を用いた解析 ……94  
 大門 正太郎<sup>1</sup> (だいもん しょうたろう)、能登 栞<sup>1</sup>、板口 典弘<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>クラーク病院、<sup>2</sup>静岡大学情報学部
- 7-3 重度の非語復唱障害を呈した軽度失語症例における聴覚的理解および音韻機能の分析 ……95  
 唐澤 健太<sup>1,2</sup> (からさわ けんた)、春原 則子<sup>2</sup>、鈴木 智也<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>リハビリテーション天草病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>日白大学大学院リハビリテーション学研究科
- 7-4 仮名語の音読における心像性効果 ……95  
 渡辺 眞澄<sup>1</sup> (わたなべ ますみ)、山崎 悠貴<sup>2</sup>、和田 歩美<sup>3</sup>、辰巳 格<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>県立広島大学、<sup>2</sup>錦海リハビリテーション病院、<sup>3</sup>松山リハビリテーション病院、  
<sup>4</sup>LD, Dyslexia センター
- 7-5 SLTA「呼称」と「漢字単語の音読」と「仮名单語の音読」の関係性について ……96  
 中川 良尚<sup>1</sup> (なかがわ よしたか)、笹嶋 侑子<sup>1</sup>、近藤 郁江<sup>1</sup>、岩佐 香菜美<sup>2</sup>、  
 原 未来<sup>1</sup>、木下 結理<sup>1</sup>、佐野 洋子<sup>1</sup>、船山 道隆<sup>2</sup>、山谷 洋子<sup>3</sup>、加藤 正弘<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>江戸川病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>足利赤十字病院精神神経科、<sup>3</sup>江戸川病院神経内科
- 7-6 意味連合検査 SAT の臨床的有用性に関する検討 ……96  
 佐藤 ひとみ (さとう ひとみ)  
 浴風会病院リハビリテーション科
- 7-7 日本語の動詞活用に関する基礎的研究 ……97  
 渡辺 眞澄<sup>1</sup> (わたなべ ますみ)、西河 杏莉<sup>2</sup>、仁井山 志穂<sup>3</sup>、辰巳 格<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>県立広島大学、<sup>2</sup>暇生会脳神経外科病院、<sup>3</sup>西広島リハビリテーション病院、  
<sup>4</sup>LD, Dyslexia センター

- 7-8 発語失行症状に語のアクセントが及ぼす影響—右半球損傷による検討 ……97  
 地主 千尋<sup>1</sup> (じぬし ちひろ)、小森 規代<sup>1</sup>、櫻岡 絵里香<sup>1</sup>、佐藤 美穂<sup>3</sup>、浦野 友彦<sup>2</sup>、  
 阿部 晶子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科、<sup>2</sup> 国際医療福祉大学医学部老年病学講座、  
<sup>3</sup> 介護老人保健施設マロニエ苑通所リハビリテーション

一般演題 8：発話

- 8-1 両手利き右中心前回損傷例の発語失行の回復経過について ……98  
 木下 結理<sup>1</sup> (きのした ゆり)、中川 良尚<sup>1</sup>、笹嶋 侑子<sup>1</sup>、近藤 郁江<sup>1</sup>、岩佐 香菜美<sup>1</sup>、  
 原 未来<sup>1</sup>、佐野 洋子<sup>1</sup>、船山 道隆<sup>2</sup>、山谷 洋子<sup>3</sup>、加藤 正弘<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 江戸川病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 足利赤十字病院神経精神科、<sup>3</sup> 江戸川病院神経内科
- 8-2 左中心前回損傷例と左基底核損傷例における「構音の歪み」の出現機序の検討 ……98  
 高倉 祐樹<sup>1</sup> (たかくら ゆうき)、大槻 美佳<sup>1,2</sup>、中川 賀嗣<sup>3</sup>、業天 那奈香<sup>4</sup>、杉原 俊一<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 北海道大学大学院保健科学研究院高次脳機能創発分野、<sup>2</sup> 北海道大学大学院保健科学研究院、  
<sup>3</sup> 北海道医療大学リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科、  
<sup>4</sup> 札幌秀友会病院リハビリテーション科
- 8-3 発語失行を呈した運動性失語患者に対するモーラ指折り法と口形模倣の訓練効果 ……99  
 三橋 優香<sup>1</sup> (みつはし ゆうか)、沖田 啓子<sup>2</sup>、岡本 隆嗣<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 医療法人社団朋和会西広島リハビリテーション病院、<sup>2</sup> 広島国際大学
- 8-4 左前頭葉脳腫瘍摘出後に超皮質性運動失語を呈した症例 ……99  
 押 沙織<sup>1</sup> (おし さおり)、上田 敬太<sup>2</sup>、上田 将也<sup>1</sup>、荒川 芳輝<sup>3</sup>、峰晴 陽平<sup>3</sup>、  
 山尾 幸広<sup>3</sup>、田嶋 あゆみ<sup>1</sup>、山脇 理恵<sup>1</sup>、村井 俊哉<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 京都大学医学部附属病院リハビリテーション部、<sup>2</sup> 京都大学大学院医学研究科精神医学、  
<sup>3</sup> 京都大学大学院医学研究科脳神経外科学
- 8-5 叙述的発話が困難であった超皮質性運動失語の一例 ……100  
 元木 雄一郎<sup>1</sup> (もとぎ ゆういちろう)、赤池 絢<sup>1</sup>、武井 徳子<sup>1</sup>、東川 麻里<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 甲州リハビリテーション病院リハビリテーション部、<sup>2</sup> 北里大学医療衛生学部
- 8-6 右前頭葉、脳梁膝部の脳腫瘍による著明な声量低下に対し、ロンバール効果を用いた発声訓練  
 が奏功した症例 ……100  
 橋本 悠<sup>1</sup> (はしもと ゆう)、宮崎 友理<sup>1</sup>、幸田 剣<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup> 和歌山県立医科大学附属病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座
- 8-7 ジェスチャーを伴うことで音の途切れが解消された重度 Broca 失語症例に対する病態解釈 ……101  
 林田 佳子 (はやしだ よしこ)、橋本 宏二郎、石橋 ゆりえ、信迫 香織、奥埜 博之  
 医療法人孟仁会摂南総合病院リハビリテーション科
- 8-8 2度の脳梗塞により前部弁蓋部症候群 (Foix-Chavany-Marie syndrome : FCMS) を呈した一症例  
 ……101  
 春尾 章代<sup>1</sup> (はるお ふみよ)、東山 毅<sup>1</sup>、檜林 哲雄<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 兵庫県立リハビリテーション西播磨病院、<sup>2</sup> 高知大学医学部神経精神科学講座

- 8-9 頭部外傷後、意識回復過程で数の独語を呈した2症例 ……………102  
 熊倉 真理<sup>1</sup> (くまくら まり)、石原 禎人<sup>1</sup>、竹崎 里保<sup>1</sup>、向井 義博<sup>1</sup>、粟ヶ窪 亮<sup>1</sup>、  
 濱田 博文<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 社会医療法人緑泉会米盛病院リハビリテーション課、  
<sup>2</sup> 社会医療法人緑泉会米盛病院リハビリテーション科

一般演題9：失語訓練

- 9-1 深層学習モデルを用いた呼称課題における誤答分析(線画と語彙の特徴分析)の試み……………102  
 浅川 伸一<sup>1</sup> (あさかわ しんいち)、大門 正太郎<sup>2</sup>、橋本 幸成<sup>3</sup>、高倉 祐樹<sup>5</sup>、  
 上間 清司<sup>4</sup>、吉原 将大<sup>6</sup>  
<sup>1</sup> 東京女子大学、<sup>2</sup> クラーク病院、<sup>3</sup> JCHO 熊本総合病院、<sup>4</sup> イムス板橋リハビリテーション病院、  
<sup>5</sup> 北海道大学、<sup>6</sup> 国際交流基金
- 9-2 演題取り下げ
- 9-3 日本語版 Multi-Modality Aphasia Therapy の開発-重度失語症 2 例の介入報告- ……………103  
 北川 敬太<sup>1</sup> (きたがわ けいた)、木村 航<sup>2</sup>、田中 康博<sup>3</sup>、関根 和生<sup>4</sup>、辰巳 寛<sup>3</sup>、  
 Miranda L Rose<sup>5</sup>  
<sup>1</sup> 社団医療法人かなめ会山内ホスピタルリハビリテーション科、  
<sup>2</sup> 白鳳短期大学リハビリテーション学専攻、<sup>3</sup> 愛知学院大学心身科学部健康科学科、  
<sup>4</sup> 早稲田大学人間科学学術院、<sup>5</sup> La Trobe University
- 9-4 言語治療支援アプリケーションを用いた次世代言語治療の試み ……………104  
 勝野 由大<sup>1,2</sup> (かつの ゆうた)、辰巳 寛<sup>3</sup>、長尾 確<sup>4</sup>、伊東 慶一<sup>5</sup>、福原 佳代<sup>5</sup>、  
 菅 博人<sup>6</sup>、植木 美乃<sup>7</sup>、松川 則之<sup>8</sup>  
<sup>1</sup> 名古屋第二赤十字病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 名古屋市立大学大学院医学研究科、  
<sup>3</sup> 愛知学院大学心身科学部、<sup>4</sup> 名古屋大学情報学研究科知能システム学専攻、  
<sup>5</sup> 社会医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院リハビリテーション科、  
<sup>6</sup> 名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻、  
<sup>7</sup> 名古屋市立大学大学院医学研究科リハビリテーション医学分野、  
<sup>8</sup> 名古屋市立大学大学院医学研究科脳神経内科
- 9-5 失語症の自発話課題における経頭蓋直流電気刺激の効果 ……………104  
 井原 綾<sup>1</sup> (いはら あや)、宮崎 彰子<sup>2</sup>、伊澤 幸洋<sup>3,4</sup>、高山 みさき<sup>4</sup>、花山 耕三<sup>5</sup>、  
 種村 純<sup>6</sup>  
<sup>1</sup> 国立研究開発法人情報通信研究機構、<sup>2</sup> 川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター、  
<sup>3</sup> 福山市立大学教育学部、<sup>4</sup> 岡山リハビリテーション病院、  
<sup>5</sup> 川崎医科大学リハビリテーション医学教室、<sup>6</sup> 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部
- 9-6 長期入院中の小児がん患者に対する言語聴覚療法の試み ……………105  
 湯野 真弓<sup>1</sup> (ゆの まゆみ)、温井 めぐみ<sup>1</sup>、沖 啓祐<sup>1</sup>、日浦 麻緒<sup>1</sup>、小川 智江<sup>1</sup>、  
 草間 由実子<sup>1</sup>、山崎 夏維<sup>2</sup>、仁谷 千賀<sup>2</sup>、岡田 恵子<sup>2</sup>、藤崎 弘之<sup>2</sup>、原 純一<sup>2</sup>、  
 川脇 壽<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 大阪市立総合医療センター小児言語科、<sup>2</sup> 大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科

## 一般演題 10：進行性失語

- 10-1 Alzheimer 病患者が呈する誤りから見る抽象語の理解構造とその障害—プロトタイプからの逸脱 ……………105  
古本 英晴 (ふるもと ひではる)、三浦 康子  
独立行政法人国立病院機構千葉医療センター脳神経内科
- 10-2 多弁であったために長期間診断が遅れた語義失語を伴った前頭側頭葉変性症 ……………106  
中島 明日佳<sup>1</sup> (なかじま あすか)、船山 道隆<sup>2</sup>、中村 智之<sup>1</sup>、稲葉 貴恵<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 足利赤十字病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 足利赤十字病院神経精神科
- 10-3 左側頭頭頂葉皮質下出血にて語義の障害を中核とした失語症を認めた症例について ……106  
堀池 正太<sup>1</sup> (ほりいけ しょうた)、本村 絢子<sup>2</sup>、深川 和利<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 社会医療法人宏潤会大同病院リハビリテーション科、  
<sup>2</sup> 社会医療法人宏潤会大同病院脳神経外科
- 10-4 演題取り下げ
- 10-5 発語失行を伴わない原発性失文法型進行性失語の 62 歳女性例……………107  
長谷川 靖子<sup>1</sup> (はせがわ やすこ)、板谷 早希子<sup>2</sup>、今井 美有紀<sup>1</sup>、阿部 圭輔<sup>2</sup>、  
稲葉 彰<sup>2</sup>、織茂 智之<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 公立学校共済組合関東中央病院リハビリテーション科、  
<sup>2</sup> 公立学校共済組合関東中央病院脳神経内科

## 一般演題 11：談話・コミュニケーション

- 11-1 標準失語症検査「まंगाの説明」における文発話の分析：統語的単純化について ……………108  
土橋 三枝子<sup>1</sup> (つちはし みえこ)、村上 実穂<sup>2</sup>、作田 浩行<sup>3</sup>、磯 さおり<sup>4</sup>、上坂 義和<sup>5</sup>  
<sup>1</sup> 武蔵中原まちいクリニック、<sup>2</sup> 虎の門病院リハビリテーション部言語聴覚科、  
<sup>3</sup> 昭和大学保健医療学部作業療法学科、<sup>4</sup> さいたま赤十字病院リハビリテーション科、  
<sup>5</sup> 虎の門病院脳神経内科
- 11-2 右大脳半球損傷者に対する談話評価法の検討 ……………108  
植谷 利英<sup>1</sup> (うえたに りえ)、種村 純<sup>1</sup>、伊澤 幸洋<sup>2,3</sup>、太田 信子<sup>1</sup>、時田 春樹<sup>1</sup>、  
戸田 淳氏<sup>1</sup>、宮崎 彰子<sup>4</sup>、花山 耕三<sup>4,5</sup>  
<sup>1</sup> 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科、  
<sup>2</sup> 福山市立大学教育学部児童教育学科、  
<sup>3</sup> 岡山リハビリテーション病院リハビリテーション部言語聴覚室、  
<sup>4</sup> 川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター、  
<sup>5</sup> 川崎医科大学リハビリテーション医学教室
- 11-3 中等度混合型失語症一例における意思伝達能力の高さについて ……………109  
原 未来<sup>1</sup> (はら みき)、中川 良尚<sup>1</sup>、笹嶋 侑子<sup>1</sup>、近藤 郁江<sup>1</sup>、岩佐 香菜美<sup>1</sup>、  
木下 結理<sup>1</sup>、佐野 洋子<sup>1</sup>、船山 道隆<sup>2</sup>、山谷 洋子<sup>3</sup>、加藤 正弘<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 江戸川病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 足利赤十字病院神経精神科、<sup>3</sup> 江戸川病院神経内科

- 11-4 SLTA「口頭命令に従う」「語列挙」に長期的な改善を認めた失語症例  
 —社会生活で求められる言語機能の重要性— ……………109  
 笹嶋 侑子<sup>1</sup> (ささじま ゆうこ)、中川 良尚<sup>1</sup>、近藤 郁江<sup>1</sup>、岩佐 香菜美<sup>1</sup>、原 未来<sup>1</sup>、  
 木下 結理<sup>1</sup>、佐野 洋子<sup>1</sup>、船山 道隆<sup>2</sup>、山谷 洋子<sup>3</sup>、加藤 正弘<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>江戸川病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>足利赤十字病院神経精神科、<sup>3</sup>江戸川病院神経内科
- 11-5 認知症高齢者の能動的コミュニケーション活動と BPSD との関連性について ……………110  
 弘田 修一 (ひろた しゅういち)  
 社会福祉法人香南会特別養護老人ホーム香南赤岡苑機能訓練部

一般演題 12：書字
------------

- 12-1 実在漢字を不適切に組合せた右半球損傷 2 症例 ……………110  
 小割 貴博<sup>1,2</sup> (こわり たかひろ)、宮崎 泰広<sup>3,4</sup>、池野 雅裕<sup>5</sup>、種村 純<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup>川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究科感覚矯正学専攻、  
<sup>3</sup>関西電力病院リハビリテーション科、<sup>4</sup>関西電力医学研究所、  
<sup>5</sup>川崎医療福祉大学言語聴覚療法学科
- 12-2 左上中側頭回後部の脳梗塞により漢字に選択的な書字障害を認めた一例 ……………111  
 大石 斐子<sup>1</sup> (おおいし あやこ)、徳山 明子<sup>2</sup>、辻川 将弘<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科、  
<sup>2</sup>東京湾岸リハビリテーション病院言語聴覚科、  
<sup>3</sup>東京湾岸リハビリテーション病院リハビリテーション科
- 12-3 脳梁膨大部ならびに小脳脚の梗塞により失書を呈した一例 ……………111  
 磯尾 摩耶<sup>1</sup> (いそお まや)、坂井 麻里子<sup>2</sup>、西川 隆<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>大阪府済生会茨木病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>友誼会総合病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup>奈良学園大学保健医療学部リハビリテーション学科
- 12-4 平仮名と片仮名の対連合学習が片仮名想起に有効であった失語症の 1 例 ……………112  
 若松 千裕<sup>1,2</sup> (わかまつ かずひろ)、石合 純夫<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>札幌医科大学附属病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座
- 12-5 仮名書字の誤りを主症状とした交叉性失語の一例 ……………112  
 内山 美保 (うちやま みほ)、森脇 元希、高木 大輔  
 聖隷三方原病院リハビリテーション部
- 12-6 外傷性クモ膜下出血後に小字症を呈した症例に対する書字訓練の効果 ……………113  
 渡邊 俊紀<sup>1,2</sup> (わたなべ としのり)、太田 久晶<sup>3</sup>、若松 千裕<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>社会医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>藤田医科大学大学院保健学研究科、<sup>3</sup>札幌医科大学保健医療学部作業療法学科、  
<sup>4</sup>札幌医科大学附属病院リハビリテーション部

- 12-7 左放線冠梗塞にてタイピング障害を呈した1例 ……………113  
 金森 薫子<sup>1</sup> (かなもり かおるこ)、辰巳 寛<sup>2</sup>、大羽 知里<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>名古屋第二赤十字病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>愛知学院大学心身科学部、  
<sup>3</sup>名古屋第二赤十字病院脳神経内科

一般演題 13：小児

- 13-1 日本語話者児童の「ひらがな」と「漢字」における読み困難の出現率について ……………114  
 澁谷 文恵<sup>1,3</sup> (しぶや ふみえ)、宇野 彰<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>筑波大学芸術系、<sup>2</sup>筑波大学人間系、<sup>3</sup>NPO 法人 LD・Dyslexia センター
- 13-2 言語優位側側頭葉切除後も言語機能が保たれた一小児てんかん例 ……………114  
 日浦 麻緒<sup>1</sup> (ひうら まお)、温井 めぐみ<sup>1,3</sup>、沖 啓祐<sup>1</sup>、湯野 真弓<sup>1</sup>、小川 智江<sup>1</sup>、  
 草間 由実子<sup>1</sup>、内山 良則<sup>2</sup>、山本 直寛<sup>3</sup>、井上 岳司<sup>3</sup>、川脇 壽<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>大阪市立総合医療センター小児言語科、<sup>2</sup>大阪市立総合医療センターリハビリテーション科、  
<sup>3</sup>大阪市立総合医療センター小児神経内科
- 13-3 日本語版 School Function Assessment の標準化研究—ICF 基づいた生活機能評価の作成— 115  
 馬屋原 誠司<sup>1</sup> (まやはら せいじ)、中島 恵子<sup>2</sup>、服部 環<sup>3</sup>、金築 優<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>広島市教育委員会、<sup>2</sup>京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科、  
<sup>3</sup>法政大学現代福祉学部人間社会研究科
- 13-4 小児期の高次脳機能障害の困難さに関する日常生活場面の特徴—成人高次脳機能障害者との  
 比較から— ……………115  
 岩崎 也生子 (いわさき やおこ)  
 杏林大学

一般演題 14：記憶

- 14-1 「遠隔記憶検査更新版」試案を用いた逆行性健忘の評価の試み ……………116  
 山本 小緒里<sup>1</sup> (やまもと さおり)、赤荻 英理<sup>2</sup>、井上 澄香<sup>1</sup>、田中 春奈<sup>3</sup>、  
 小西 海香<sup>4</sup>、斎藤 文恵<sup>4</sup>、江口 洋子<sup>4</sup>、三村 悠<sup>4</sup>、穴水 幸子<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>千葉県千葉リハビリテーションセンター言語聴覚科、  
<sup>2</sup>千葉県千葉リハビリテーションセンター脳神経内科、  
<sup>3</sup>東京都健康長寿医療センターリハビリテーション科、  
<sup>4</sup>神経内科慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
- 14-2 側頭葉てんかん患者におけるウェクスラー記憶検査改訂版の言語性記憶と長さの異なる談話  
 の聴覚理解との関係 ……………116  
 木下 美帆<sup>1</sup> (きのした みほ)、廣實 真弓<sup>2</sup>、渡辺 雅子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>練馬駅リハビリテーション病院医療技術部リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>帝京平成大学健康メディカル学部言語聴覚学科、<sup>3</sup>新宿神経クリニック
- 14-3 スマートフォンアラーム機能を利用した高次脳機能障害デイケアにおける展望記憶訓練 ……117  
 俵 あゆみ<sup>1</sup> (たわら あゆみ)、江尻 知穂<sup>1</sup>、佐伯 裕美<sup>1</sup>、藤埜 美由紀<sup>1</sup>、蜂谷 敦子<sup>1</sup>、  
 新藤 千夏<sup>1</sup>、李 彩織<sup>1</sup>、塚越 千尋<sup>1,2</sup>、納谷 敦夫<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>なやクリニック、<sup>2</sup>藍野大学医療保健学部

- 14-4 論理的記憶と遂行機能における関連性の検討 ……………117  
 黒川 翔<sup>1,2</sup> (くろかわ しょう)、石合 純夫<sup>2</sup>、若松 千裕<sup>1,2</sup>、相原 伸子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 札幌医科大学附属病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座

一般演題 15：注意

- 15-1 Self-Organizing Map を用いた脳卒中患者における軽度ビジランス機能低下の検出 (第2報) …118  
 牛尾 真也<sup>1</sup> (うしお しんや)、矢田 かおり<sup>1</sup>、松重 輝顕<sup>2</sup>、三澤 秀明<sup>3</sup>、常盤 達司<sup>4</sup>、  
 宮口 英樹<sup>5</sup>  
<sup>1</sup> 地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立リハビリテーション病院リハビリテーション技術科、  
<sup>2</sup> 地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立自立訓練施設、  
<sup>3</sup> 宇部工業高等専門学校電気工学科、<sup>4</sup> 広島市立大学大学院情報科学研究科、  
<sup>5</sup> 広島大学大学院医系科学研究科

15-2 演題取り下げ

一般演題 16：社会的行動障害

- 16-1 大音量で音楽をかける等の問題行動が減少し相談終結に至った社会的行動障害の一症例 …119  
 西村 彩<sup>1,2</sup> (にしむら あや)、江村 俊平<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 永生病院高次脳機能障害支援事業推進室、<sup>2</sup> 永生クリニックリハビリテーション科
- 16-2 高次脳機能障害支援における社会的行動障害への対応 ……………119  
 瀧澤 学 (たきざわ がく)  
 神奈川リハビリテーション病院
- 16-3 個人・集団・組織・地域レベルで、いかに高次脳機能障害への取組みの質を高めるか  
 1. 個人・集団レベル ……………120  
 竹内 正人 (たけうち まさひと)、有賀 美紀  
 医療法人社団城東桐和会タムス浦安病院
- 16-4 社会生活尺度 SL-77 の検者間信頼性について ……………120  
 佐敷 俊成<sup>1</sup> (さしき としなり)、川上 寿一<sup>1,2</sup>、平川 圭子<sup>1</sup>、渡辺 幸子<sup>1</sup>、中馬 孝容<sup>1</sup>、  
 藤田 美奈子<sup>1</sup>、丸木 仁<sup>1</sup>、田邊 陽子<sup>3</sup>、小西川 梨紗<sup>3</sup>、生方 志浦<sup>4</sup>、上田 敬太<sup>4</sup>、  
 村井 俊哉<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 滋賀県立総合病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 滋賀県立リハビリテーションセンター、  
<sup>3</sup> 滋賀県高次脳機能障害支援センター、<sup>4</sup> 京都大学大学院医学研究科精神医学教室

一般演題 17：神経行動リハ

- 17-1 感情コントロール障害を呈した症例に対する個別 SST の介入経験 ……………121  
 高倉 沙樹 (たかくら さき)、戸高 綾、野村 心  
 社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター

- 17-2 左視床損傷後の Apathy 症例に対し目標指向型アプローチを行うことで生活機能改善が実現した一例 ……………121  
佐藤 良樹<sup>1</sup> (さとう よしき)、横関 彩佳<sup>1</sup>、小浜 尚也<sup>2</sup>、伊勢 眞樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 医療法人誠和会倉敷記念病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科
- 17-3 右視床背内側核損傷により幼児的な人格変化と依存的行動を示した一症例 ……………122  
大谷 武史<sup>1</sup> (おおたに たけし)、木村 大輔<sup>2</sup>、平松 佑一<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 医療法人仁寿会石川病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科、  
<sup>3</sup> 社会医療法人大道会森之宮病院神経リハビリテーション研究部
- 17-4 精神科病棟での管理が必要な高次脳機能障害患者の在宅復帰 ……………122  
黒瀬 心<sup>1</sup> (くろせ しん)、船山 道隆<sup>1</sup>、中島 明日佳<sup>2</sup>、清水 裕介<sup>1</sup>、工藤 駿<sup>1</sup>、  
三村 悠<sup>3</sup>、高田 武人<sup>1</sup>、三村 將<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 足利赤十字病院神経精神科、<sup>2</sup> 足利赤十字病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup> 慶應義塾大学医学部精神・神経科
- 17-5 可逆性後頭葉白質脳症後に過剰な「こだわり」が出現した全身性エリテマトーデスの一例 …123  
黒瀬 心<sup>1</sup> (くろせ しん)、船山 道隆<sup>1</sup>、青木 聖里菜<sup>2</sup>、清水 裕介<sup>1</sup>、三村 悠<sup>3</sup>、  
高田 武人<sup>1</sup>、三村 將<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 足利赤十字病院神経精神科、<sup>2</sup> 足利赤十字病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup> 慶應義塾大学医学部精神・神経科
- 17-6 アルコール依存症者の注意・意欲・気分に関する検討～健常者との比較～ ……………123  
水島 久美子<sup>1</sup> (みずしま くみこ)、佐藤 順子<sup>1,2</sup>、森下 夏帆<sup>1</sup>、内田 あおい<sup>1</sup>、  
吉田 伸一<sup>1</sup>、奥田 正英<sup>1</sup>、水谷 浩明<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 資生会八事病院、<sup>2</sup> 聖隷クリストファー大学

#### 一般演題 18：小脳

- 18-1 急性期脳卒中における小脳病変を起因とした高次脳機能障害の特徴 ……………124  
市本 将也<sup>1</sup> (いちもと まさや)、時田 春樹<sup>2</sup>、野間 陸<sup>3</sup>、種村 純<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門、  
<sup>2</sup> 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科、  
<sup>3</sup> 脳神経センター大田記念病院リハビリテーション課
- 18-2 小脳の高次脳機能検査として Cerebellar cognitive affective syndrome scale を試用して …124  
坪井 理佳 (つばい りか)、山下 豊、村上 里奈、植木 美乃  
名古屋市立大学病院リハビリテーション科
- 18-3 小脳領域の腫瘍摘出術後に MCAS (Mie Constructional Ability Scale) が改善した 2 例 …125  
松田 佳奈<sup>1,2</sup> (まつだ かな)、佐藤 正之<sup>3</sup>、上田 有紀人<sup>2</sup>、青木 一晃<sup>4</sup>、山本 篤志<sup>4</sup>、  
三浦 洋一<sup>4</sup>、松原 年生<sup>4</sup>、鈴木 秀謙<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学、<sup>2</sup> 三重大学病院リハビリテーション部、  
<sup>3</sup> 三重大学大学院医学系研究科認知症医療学、<sup>4</sup> 三重大学大学院医学系研究科脳神経外科学

- 18-4 小脳上衣腫治療後に Cerebellar Cognitive Affective Syndrome(CCAS)を呈した児への学習支援  
 .....125  
 沖 啓祐<sup>1</sup> (おき けいすけ)、温井 めぐみ<sup>1,2</sup>、國廣 誉世<sup>3</sup>、湯野 真弓<sup>1</sup>、日浦 麻緒<sup>1</sup>、  
 小川 智江<sup>1</sup>、草間 由実子<sup>1</sup>、川脇 壽<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup> 大阪市立総合医療センター小児言語科、<sup>2</sup> 大阪市立総合医療センター小児神経内科、  
<sup>3</sup> 大阪市立総合医療センター小児脳神経外科
- 18-5 右小脳出血後に統語の障害を呈した症例 .....126  
 野上 千尋<sup>1,2</sup> (のがみ ちひろ)、平山 和美<sup>2</sup>、橋本 竜作<sup>3</sup>、中川 瑞穂<sup>1</sup>、齋藤 佑規<sup>4</sup>、  
 竹村 直<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 山形県立保健医療大学大学院保健医療学研究科、  
<sup>3</sup> 北海道医療大学心理科学部言語聴覚療法学科、  
<sup>4</sup> 社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院脳神経外科
- 18-6 橋病変を契機として高次脳機能障害を呈した2症例 .....126  
 鮫島 悠子<sup>1</sup> (さめしま ゆうこ)、門田 良子<sup>1</sup>、松元 龍<sup>1</sup>、村山 芳博<sup>1</sup>、神田 直昭<sup>2</sup>、  
 堂園 浩一朗<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 公益財団法人慈愛会今村総合病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 公益財団法人慈愛会今村総合病院脳神経内科、  
<sup>3</sup> 公益財団法人慈愛会今村総合病院リハビリテーション科

一般演題 19：特殊な原因疾患
-----------------

- 19-1 内頸動脈狭窄症に対する治療前後における高次脳機能検査の変化 .....127  
 竹内 奈緒子<sup>1</sup> (たけうち なおこ)、新貝 尚子<sup>1</sup>、重枝 諒太<sup>2</sup>、福田 明<sup>1</sup>、  
 大久保 誠二<sup>3</sup>、井上 智弘<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> NTT 東日本関東病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> NTT 東日本関東病院脳神経外科、  
<sup>3</sup> NTT 東日本関東病院脳血管内科
- 19-2 Bickerstaff 型脳幹脳炎後に高次脳機能障害を呈した一例 .....127  
 野村 心<sup>1</sup> (のむら しん)、中原 佑太郎<sup>1</sup>、甲斐 祥吾<sup>1</sup>、本田 昇司<sup>1</sup>、吉川 公正<sup>1,2</sup>、  
 中島 恵子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup> 遠賀中間医師会おかがき病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup> 京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科
- 19-3 症候性海綿状血管腫奇形に伴う高次脳機能障害の検討(第一報).....128  
 粟ヶ窪 亮 (あわがくぼ りょう)、石原 禎人、向井 義博、竹下 聖將、平江 典丈、  
 乾 光梨、八木 優衣、川路 史也、田中 信行、濱田 博文  
 社会医療法人緑泉会米盛病院リハビリテーション課

- 20-1 演題取り下げ
- 20-2 成人の健常加齢と高次脳機能における脳内神経回路解析 ……………129  
 水野 聡美<sup>1</sup> (みずの さとみ)、前澤 聡<sup>2,3</sup>、バガリナオ エピファニオ<sup>2</sup>、大嶽 れい子<sup>2</sup>、  
 原 一洋<sup>2,4</sup>、渡辺 宏久<sup>6</sup>、尾崎 紀夫<sup>2,5</sup>、祖父江 元<sup>2,7</sup>  
<sup>1</sup> 国立病院機構名古屋医療センターリハビリテーション科、  
<sup>2</sup> 名古屋大学脳とこころの研究センター、<sup>3</sup> 名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科学、  
<sup>4</sup> 名古屋大学大学院医学系研究科脳神経内科学、  
<sup>5</sup> 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学親と子どもの心療学、<sup>6</sup> 藤田医科大学脳神経内科、  
<sup>7</sup> 愛知医科大学
- 20-3 発達性読み書き障害を合併する自閉スペクトラム症児の音読速度と白質線維束の関連に関する検討 ……………129  
 加藤 陽子<sup>1</sup> (かとう ようこ)、下野 九理子<sup>2,3</sup>、富永 康仁<sup>2,3</sup>、山本 知加<sup>1,2</sup>、  
 中西 真理子<sup>1,3</sup>、橘 雅弥<sup>1,3</sup>、毛利 育子<sup>2,3</sup>、谷池 雅子<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup> 大阪大学大学院連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター、  
<sup>2</sup> 大阪大学大学院連合小児発達学研究科、<sup>3</sup> 大阪大学大学院医学系研究科小児科
- 20-4 右島皮質損傷例が呈した特徴的な神経心理学的症状の発現機序 ……………130  
 有川 瑛人<sup>1,2</sup> (ありかわ えいと)、窪田 正大<sup>2</sup>、原口 友子<sup>1</sup>、堀ノ内 啓介<sup>3</sup>、  
 有馬 美智子<sup>4</sup>、夏越 祥次<sup>5</sup>  
<sup>1</sup> 医療法人玉昌会加治木温泉病院総合リハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup> 鹿児島大学大学院保健学研究科、<sup>3</sup> 医療法人玉昌会加治木温泉病院リハビリテーション科、  
<sup>4</sup> 鹿児島大学病院リハビリテーション科、<sup>5</sup> 医療法人玉昌会加治木温泉病院消化器外科
- 20-5 手話言語の MEG による検討 ……………130  
 本田 美和<sup>1</sup> (ほんだ みわ)、河野 寛一<sup>1</sup>、菊安 誠<sup>2</sup>、下堂 蘭 恵<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 潤和会記念病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 京都学園大学健康医療学部言語聴覚学科、  
<sup>3</sup> 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学
- 20-6 脳神経外科患者を対象とした感覚過敏性の検討 ……………131  
 越智 隆太<sup>1,2</sup> (おち りゅうた)、斎藤 聖子<sup>3</sup>、弘光 健太郎<sup>2,4</sup>、重宗 弥生<sup>5</sup>、  
 浜本 加奈子<sup>6</sup>、鈴木 佑大<sup>1</sup>、岩立 文香<sup>7</sup>、篠浦 伸禎<sup>8</sup>、山田 良治<sup>8</sup>、緑川 晶<sup>9</sup>  
<sup>1</sup> 中央大学大学院文学研究科、<sup>2</sup> 中央大学人文科学研究科、<sup>3</sup> 杏林大学医学部、  
<sup>4</sup> 東京大学大学院人文社会系研究科、<sup>5</sup> 中央大学研究開発機構、  
<sup>6</sup> 国立障害者リハビリテーションセンター病院リハビリテーション部門臨床心理、  
<sup>7</sup> 東京大学大学院教育学研究科、<sup>8</sup> がん・感染症センター都立駒込病院脳神経外科、  
<sup>9</sup> 中央大学文学部
- 20-7 高齢入院患者に対する視力評価の試み～評価方法、応答方法及び認知機能からの分析～ ……131  
 伊藤 太枝子<sup>1</sup> (いとう たえこ)、佐島 毅<sup>2</sup>、原口 小菜恵<sup>3</sup>、若命 裕史<sup>3</sup>、飯田 瑞穂<sup>3</sup>、  
 坂本 修平<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 国際医療福祉大学成田病院リハビリテーションセンター、<sup>2</sup> 筑波大学人間系、  
<sup>3</sup> 横須賀市立市民病院リハビリテーション療法科

## 一般演題 21：心理社会的介入

- 21-1 包括的な神経心理学的リハビリテーションプログラムの実施経験 ……………132  
 青木 重陽<sup>1</sup> (あおき しげはる)、福井 遼太<sup>1</sup>、日比 洋子<sup>1</sup>、殿村 暁<sup>2</sup>、永井 喜子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション科、  
<sup>2</sup> 神奈川リハビリテーション病院心理科、<sup>3</sup> 神奈川リハビリテーション病院総合相談室
- 21-2 OZC のワークアウトと行動分類により脳損傷理解が促進した症例報告 ……………132  
 堀越 歩 (ほりこし あゆみ)  
 西仙台病院臨床心理室
- 21-3 外傷性脳損傷に対する長期的支援について一日課・対処行動・気づきの視点からアプローチ  
 を展開した症例― ……………133  
 殿村 暁<sup>1</sup> (とのむら さとる)、青木 重陽<sup>2</sup>、露木 拓将<sup>3</sup>、松元 健<sup>3</sup>、白川 大平<sup>1</sup>、  
 中澤 若菜<sup>4</sup>、永井 喜子<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 神奈川リハビリテーション病院心理科、  
<sup>2</sup> 神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup> 神奈川リハビリテーション病院職能科、<sup>4</sup> 神奈川リハビリテーション病院総合相談室
- 21-4 演題取り下げ
- 21-5 脳外傷背景にアルコール依存症を持つ 50 代男性へのチーム医療におけるプログラム構築と支援  
 ……………134  
 有賀 美紀 (ありが みき)、竹内 正人  
 医療法人社団城東桐和会タムス浦安病院

## 一般演題 22：ADL

- 22-1 急性期脳卒中患者における日常生活動作の自立度に関連する要因の検討 ……………134  
 宮内 貴之<sup>1,3</sup> (みやうち たかゆき)、佐々木 祥太郎<sup>1</sup>、佐々木 洋子<sup>1</sup>、最上谷 拓磨<sup>1</sup>、  
 榊原 陽太郎<sup>1,2</sup>、白濱 勲<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院脳神経外科、  
<sup>3</sup> 神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉学研究科
- 22-2 当院における脳血管障害患者の歩行自立度と神経心理学的検査との関係 ……………135  
 岡元 信弥<sup>1</sup> (おかもと しんや)、佐藤 晃<sup>1</sup>、早野 充浩<sup>1</sup>、長野 友里<sup>2</sup>、西出 有輝子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院理学療法科、  
<sup>2</sup> 名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院臨床心理科
- 22-3 脳卒中後の高次脳機能障害による失禁 ……………135  
 船山 道隆<sup>1</sup> (ふなやま みちたか)、是木 明宏<sup>2</sup>、黒瀬 心<sup>1</sup>、三村 将<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 足利赤十字病院神経精神科、<sup>2</sup> 国立病院機構下総精神医療センター、  
<sup>3</sup> 慶應義塾大学医学部精神・神経科

## 一般演題 23：運転障害

- 23-1 認知訓練と自動車運転シミュレーターを併用し自動車運転再開に至った脳血管疾患症例 …136  
福田 友美<sup>1</sup> (ふくだ ともみ)、川満 しおり<sup>1</sup>、遠藤 崇<sup>1</sup>、中田 浩一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 社会福祉法人柏芳会田川新生病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 社会福祉法人柏芳会田川新生病院介護部
- 23-2 当法人における自動車運転再開に向けた支援について～実車評価を複数回実施した症例の後方視的検討～ ……136  
野村 心 (のむら しん)、岡本 和也、河野 大輔、青野 只明、長岡 博志  
社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター
- 23-3 ドライブシミュレーターを用いた脳損傷後の運転再開評価 ……137  
山里 道彦<sup>1,2</sup> (やまさと みちひこ)、舟木 一樹<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 筑波記念病院精神科、<sup>2</sup> 水戸北水会記念病院脳神経外科、  
<sup>3</sup> 水戸北水会記念病院リハビリテーション科
- 23-4 予測に反して自動車運転に問題がみられた2症例：高次脳機能障害の視点から ……137  
沼田 歩<sup>1</sup> (ぬまた あゆみ)、豊倉 穰<sup>2</sup>、鈴木 美幸<sup>1</sup>、藤田 隆史<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 一財) 太田総合病院附属太田熱海病院作業療法科、  
<sup>2</sup> 東海大学大磯病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup> 一財) 太田総合病院附属太田熱海病院リハビリテーション科

## 一般演題 24：社会支援

- 24-1 急性期・回復期の高次脳機能障害の子どもをもつ保護者の支援ニーズ ……138  
廣瀬 綾奈<sup>1</sup> (ひろせ あやな)、中島 友加<sup>2</sup>、小倉 由紀<sup>3</sup>、湧井 敦子<sup>4</sup>、太田 令子<sup>5</sup>、  
片桐 伯真<sup>6</sup>  
<sup>1</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター小児言語聴覚科、  
<sup>2</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター心理発達科、  
<sup>3</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター更生園、  
<sup>4</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター診療部、  
<sup>5</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター高次脳機能障害支援アドバイザー、  
<sup>6</sup> 聖隷三方原病院リハビリテーション科
- 24-2 小児期発症の高次脳機能障害児／者のメンタルヘルス ……138  
玉井 創太<sup>1</sup> (たまい そうた)、東海林 大樹<sup>1</sup>、野路井 美穂<sup>1</sup>、白井 理水<sup>1</sup>、  
上野 未由希<sup>1</sup>、緑川 晶<sup>1,2</sup>、高岡 徹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 横浜市総合リハビリテーションセンター、<sup>2</sup> 中央大学
- 24-3 生活期失語症者に生ずる不適応とその後の経過 ……139  
守屋 咲希<sup>1</sup> (もりや さき)、種村 純<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 川崎医科大学総合医療センターリハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup> 川崎医療福祉大学言語聴覚学科

- 24-4 メトトレキセート白質脳症により多彩な高次脳機能障害を呈した症例—回復期における家族支援に着目して— ……………139  
西田 野百合<sup>1</sup> (にしだ のゆり)、山脇 理恵<sup>1</sup>、押 沙織<sup>1</sup>、田中 かなで<sup>1</sup>、平松 英文<sup>2</sup>、池口 良輔<sup>1,3</sup>、松田 秀一<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup> 京都大学医学部附属病院リハビリテーション部、<sup>2</sup> 京都大学医学部附属病院小児科、<sup>3</sup> 京都大学大学院医学研究科整形外科学

- 24-5 高次脳機能障害に関する効果的な啓発活動の検討  
～北海道中空知地方における啓発活動の一例～ ……………140

浅野 友佳子<sup>1</sup> (あさの ゆかこ)、荒井 裕香利<sup>2</sup>、嶋崎 静子<sup>2</sup>、中畑 佐和子<sup>3</sup>、中村 充雄<sup>4</sup>、中村 眞理子<sup>4</sup>

<sup>1</sup> 文屋内科消化器科医院訪問リハビリテーションらいらく、<sup>2</sup> 滝川保健所、<sup>3</sup> 上川保健所、<sup>4</sup> 札幌医科大学保健医療学部

### 一般演題 25：職業

- 25-1 回復期リハビリテーション病棟における高次脳機能障害者に対するリハ就労面談の取り組み ……………140

須江 慶太<sup>1</sup> (すえ けいた)、小岩 朝美<sup>2</sup>、野川 貴史<sup>3</sup>、織 哲也<sup>4</sup>、大澤 道彦<sup>5</sup>

<sup>1</sup> JA 長野厚生連鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院理学療法科、<sup>2</sup> JA 長野厚生連鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院医療社会事業科、<sup>3</sup> JA 長野厚生連鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院心理療法科、<sup>4</sup> JA 長野厚生連鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院作業療法科、<sup>5</sup> JA 長野厚生連鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院脳神経外科

- 25-2 脳損傷者への就労支援—作業療法士による支援技法— ……………141

栗原 良子<sup>1</sup> (くりはら りょうこ)、長尾 徹<sup>2</sup>、種村 留美<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 神戸大学大学院保健学研究科博士後期課程、<sup>2</sup> 神戸大学生命・医学系保健学域

- 25-3 外傷性脳損傷後、家族の支援があり早期に自宅退院した症例の復職に至る支援経過 ……141

塩屋 博史<sup>1,2</sup> (しおや ひろし)、北野 多重<sup>1</sup>、岡部 伸太郎<sup>1</sup>、崔 雅絹<sup>1</sup>、上田 剛裕<sup>1</sup>、三上 泉<sup>1</sup>、辻野 精一<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 大阪急性期・総合医療センターリハビリテーション科、<sup>2</sup> 大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究所

- 25-4 脳卒中の両立支援における当院の両立支援科の取り組み ……………142

中藤 麻紀<sup>1</sup> (なかふじ まき)、濱田 学<sup>2</sup>、橋本 博興<sup>3</sup>、加藤 徳明<sup>4</sup>、立石 清一郎<sup>5</sup>、佐伯 覚<sup>6</sup>

<sup>1</sup> 産業医科大学病院医療支援課、<sup>2</sup> 産業医科大学病院リハビリテーション部、<sup>3</sup> 産業医科大学病院両立支援科、<sup>4</sup> 産業医科大学リハビリテーション医学講座、<sup>5</sup> 産業医科大学両立支援科学講座、<sup>6</sup> 産業医科大学リハビリテーション医学講座

- 25-5 高次脳機能障害者の復職と障害認識について ……………142

野路井 未穂<sup>1</sup> (のじい みほ)、玉井 創太<sup>1</sup>、緑川 晶<sup>1,3</sup>、白井 理水<sup>1</sup>、上野 未由希<sup>1</sup>、高岡 徹<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 横浜市総合リハビリテーションセンター機能訓練課、<sup>2</sup> 横浜市総合リハビリテーションセンターリハビリテーション科、<sup>3</sup> 中央大学文学部

- 25-6 高次脳機能障害者の就労における Self-awareness と知的機能との関連について ……………143  
 東 優奈<sup>1</sup> (あずま ゆうな)、八重田 淳<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 医療法人敬愛会リハビリテーション天草病院、  
<sup>2</sup> 筑波大学大学院人間総合科学学術院リハビリテーション科学

一般演題 26：社会調査

- 26-1 指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所における高次脳機能障害者・児への  
 支援状況調査 ……………143  
 今橋 久美子<sup>1</sup> (いまはし くみこ)、立石 博章<sup>2</sup>、小西川 梨紗<sup>3</sup>、宮川 和彦<sup>3,4</sup>、  
 コワリック 優香<sup>4</sup>、森下 英志<sup>2</sup>、粉川 貴司<sup>2</sup>、平山 信夫<sup>2</sup>、深津 玲子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 国立障害者リハビリテーションセンター、<sup>2</sup> 東京都心身障害者福祉センター、  
<sup>3</sup> 滋賀県高次脳機能障害支援センター、<sup>4</sup> 滋賀県立むれやま荘
- 26-2 千葉県における高次脳機能障害者支援実態及び要望調査に関する報告 ……………144  
 田中 葉子<sup>1</sup> (たなか ようこ)、揚戸 薫<sup>1</sup>、荒井 陽子<sup>1</sup>、小倉 由紀<sup>2</sup>、長谷川 純子<sup>1</sup>、  
 菊地 尚久<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター高次脳機能障害支援センター、  
<sup>2</sup> 障害者支援施設更生園、<sup>3</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター診療部
- 26-3 鳥取県在住失語症者の介護保険サービス利用実態調査 ……………144  
 小谷 優平<sup>1,2</sup> (こだに ゆうへい)、種村 純<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 社会福祉法人こうほうえん介護老人保健施設さかい幸朋苑、  
<sup>2</sup> 川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究科感覚矯正学先行修士課程、  
<sup>3</sup> 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科

※下記プログラムもオンデマンド配信で視聴いただけます。

学会認定資格「臨床神経心理士」について

佐藤 睦子

日本高次脳機能障害学会「臨床神経心理士資格認定委員会」委員長

**トピックセミナー 1**

「脳梗塞再発予防のための抗血栓療法」

演者 八木田佳樹 (川崎医科大学 脳卒中医学教室)

共催 バイエル薬品株式会社

**トピックセミナー 2 ※オンデマンド配信期間限定 11月22日(日) 12:00~13:00**

「認知症とてんかん」

演者 久徳 弓子 (川崎医科大学 神経内科学)

共催 エーザイ株式会社

**トピックセミナー 3**

「An introduction to RehaCom. Personal experience of US Psychologist AI Borelli.」

演者 Peter C Entwistle (Pearson Clinical Assessments)

演者紹介 片山 貴文 (キッセイコムテック株式会社)

共催 キッセイコムテック株式会社

**トピックセミナー 4**

「経頭蓋直流電気刺激の基礎と臨床応用の可能性—運動・感覚・高次脳機能障害へのアプローチ」

演者 山口 智史 (順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科)

座長 浅見 菜子 (オージー技研株式会社)

共催 オージー技研株式会社

**漢方教育セミナー ※オンデマンド配信期間限定 11月20日(金) 12:00~11月27日(金) 12:00**

「認知症治療における漢方薬の位置づけ」

演者 和田 健二 (川崎医科大学 認知症学教室)

共催 株式会社ツムラ

特別講演 6

座長：蜂須賀研二（九州労災病院門司メディカルセンター）

- SL6 高次脳機能障害と自動車運転……………44  
加藤 徳明（かとう のりあき）  
産業医科大学若松病院リハビリテーション科

特別講演 7

座長：平山 和美（山形県立保健医療大学作業療法学科）

- SL7 高次脳機能障害と就労について……………46  
後藤 祐之（ごとう ひろゆき）  
川崎医療福祉大学医療福祉学部

招聘講演 1

座長：青木 重陽（神奈川リハビリテーション病院リハビリ科第二）

- IL1 Holistic Neuropsychological Rehabilitation: what is possible online?……………48  
Andrew Bateman  
NIHR East of England Research Design Service, School of Health and Social Care, University of Essex

招聘講演 2

座長：中村 光（岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科）

- IL2 Addressing outcomes that are important to people with aphasia and making a difference in quality of life……………50  
Katerina Hilari  
Joint Research Centre Lead, Language and Communication Science, City University of London

教育講演 1

座長：鈴木 匡子（東北大学大学院医学系研究科高次脳機能障害学分野）

- EL1 リハビリテーション臨床における高次脳機能障害……………52  
前島 伸一郎（まえしま しんいちろう）  
金城大学

教育講演 2

座長：櫻井 靖久（三井記念病院神経内科）

- EL2 半側空間無視一病巣論・メカニズム論・治療法アップデート……………54  
石合 純夫（いしあい すみお）  
札幌医科大学医学部リハビリテーション講座

教育講演 3

座長：武田 克彦（文京認知神経科学研究所）

- EL3 分配性注意と二重課題……………56  
豊倉 穰（とよくら みのる）  
東海大学大磯病院リハビリテーション科

## 教育講演 4

座長：佐藤 睦子（総合南東北病院神経心理学研究部門）

- EL4 認知症の生活・活動障害 ……………58  
 大沢 愛子（おおさわ あいこ）  
 国立長寿医療研究センター

## 教育講演 5

座長：深津 玲子（国立障害者リハビリテーションセンター学院）

- EL5 ひらがなはいつまでにどれだけ習得されるのか？—ひらがな習得に関するレディネス ……60  
 宇野 彰<sup>1,2</sup>（うの あきら）  
<sup>1</sup>筑波大学人間系、<sup>2</sup>NPO 法人 LD・Dyslexia センター

## 教育講演 6

座長：中川 賀嗣（北海道医療大学リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科）

- EL6 小児の遂行機能と発達障害 ……………62  
 坂爪 一幸（さかつめ かずゆき）  
 早稲田大学教育・総合科学学術院教育心理学教室

## 教育講演 7

座長：種村 留美（神戸大学大学院保健学研究科保健学専攻）

- EL7 運動制御の理論モデルを背景にした神経心理学症状の理解 ……………64  
 福澤 一吉（ふくざわ かずよし）  
 早稲田大学文学学術院文学部心理学コース

## 教育講演 8

座長：池田 学（大阪大学大学院医学系研究科精神医学分野）

- EL8 記憶の評価と記憶障害 ……………66  
 数井 裕光（かずい ひろあき）  
 高知大学医学部神経精神科学講座

## 教育講演 9

座長：福井 俊哉（医療法人花咲会かわさき記念病院）

- EL9 認知症患者の食の問題を考える ……………68  
 品川 俊一郎（しながわ しゅんいちろう）  
 東京慈恵会医科大学精神医学講座

シンポジウム：多様な臨床現場での社会的行動障害への支援

座長：村井 俊哉（京都大学大学院医学研究科精神医学）

- SY1 外傷性脳損傷での社会的行動障害の特徴と支援 ……………70  
上田 敬太（うえだ けいた）  
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学（精神医学）
- SY2 小児脳腫瘍における高次脳機能障害とその支援 ……………71  
温井 めぐみ（ぬくい めぐみ）  
大阪市立総合医療センター
- SY3 小児後天性脳損傷の社会的行動障害 ……………72  
吉橋 学（よしはし まなぶ）  
神奈川リハビリテーション病院小児科
- SY4 もやもや病における高次脳機能障害の特徴と支援 ……………73  
草野 佑介<sup>1</sup>（くさの ゆうすけ）、西田 野百合<sup>1</sup>、田中 かなで<sup>1</sup>、舟木 健史<sup>2</sup>、  
上田 敬太<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 京都大学医学部附属病院リハビリテーション部、<sup>2</sup> 京都大学大学院医学研究科脳神経外科、  
<sup>3</sup> 京都大学大学院医学研究科精神医学
- SY5 入所・通所訓練施設における重症例の支援 ……………74  
小西川 梨紗（こにしかわ りさ）  
社会福祉法人グロー滋賀県高次脳機能障害支援センター

## 一般演題 1：失認

- 1-1 左前頭葉梗塞にてゲルストマン症候群を呈した一例 ……………77  
田邊 信彦<sup>1</sup> (たなべ のぶひこ)、持田 純至<sup>1</sup>、藤田 侑子<sup>1</sup>、中川 円香<sup>1</sup>、日向 絢子<sup>1</sup>、佐藤 岳史<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 市立長浜病院リハビリテーション技術科、<sup>2</sup> 市立長浜病院脳神経外科
- 1-2 疼痛に関連して出現する余剰幻肢を認めた慢性期の被殻出血例 ……………77  
勝浦 駿平<sup>1,2</sup> (かつうら しゅんぺい)、小島 虎太郎<sup>1</sup>、太田 久晶<sup>2,3</sup>、石合 純夫<sup>1,4</sup>  
<sup>1</sup> 札幌医科大学附属病院リハビリテーション部、<sup>2</sup> 札幌医科大学大学院保健医療学研究科、  
<sup>3</sup> 札幌医科大学保健医療学部作業療法学科、  
<sup>4</sup> 札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座
- 1-3 親密度に応じた相貌の認知障害を認め、アルツハイマー型認知症と考えられた一例 ……………78  
金子 清佳<sup>1</sup> (かねこ さやか)、石原 健司<sup>2</sup>、高橋 伸佳<sup>2</sup>、旭 俊臣<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 旭神経内科リハビリテーション病院リハビリテーション科、  
<sup>2</sup> 旭神経内科リハビリテーション病院神経内科
- 1-4 検査場面と生活場面で乖離が見られた不全型 Balint-Holmes 症候群例の改善要因について …78  
中島 裕也<sup>1</sup> (なかじま ゆうや)、河村 民平<sup>2,4</sup>、北岡 佑磨<sup>3</sup>、斉藤 敏恵<sup>1</sup>、小林 康孝<sup>2,4</sup>  
<sup>1</sup> 福井総合クリニックリハビリテーション課作業療法室、  
<sup>2</sup> 福井医療大学保健医療学部リハビリテーション学科、  
<sup>3</sup> 福井総合病院リハビリテーション課言語聴覚療法室、<sup>4</sup> 福井県高次脳機能障害支援センター
- 1-5 左後頭側頭葉腫瘍摘出後に腹側型同時失認を呈した一例に対する視線計測の試み ……………79  
田畑 阿美<sup>1</sup> (たばた あみ)、荒川 芳輝<sup>2</sup>、馬場 千夏<sup>3</sup>、上田 敬太<sup>4</sup>、植野 司<sup>5</sup>、加藤 寿宏<sup>1</sup>、村井 俊哉<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻、<sup>2</sup> 京都大学医学部附属病院脳神経外科、  
<sup>3</sup> 京都大学医学部附属病院リハビリテーション部、<sup>4</sup> 京都大学大学院医学研究科精神医学、  
<sup>5</sup> 京都大学医学部附属病院精神科神経科
- 1-6 精神性注視麻痺および視覚性注意障害を呈した症例の介入経過  
～買い物自立に向けた自立訓練での実践報告～ ……………79  
西埜 和希<sup>1</sup> (にしのかずき)、福井 由香里<sup>1</sup>、太田 貴奈<sup>1</sup>、清水 大輔<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 大阪府立障がい者自立センター自立支援課、<sup>2</sup> 兵庫医療大学リハビリテーション学部
- 1-7 地誌的見当識障害の代償手段の検討  
一環境に対する自己の方向定位を記述したメモが有効であった一例一 ……………80  
甲斐 祥吾<sup>1</sup> (かい しょうご)、野村 心<sup>1</sup>、吉川 公正<sup>1,2</sup>、中島 恵子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup> 遠賀中間医師会おかがき病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup> 京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科
- 1-8 Rey の複雑図形と立方体透視図模写の検査特性の検討—脳損傷患者と認知症患者の比較から—  
……………80  
官澤 紗<sup>1</sup> (かざわ さやか)、金子 真人<sup>2,3</sup>、香月 静<sup>1</sup>、佐野 剛雅<sup>2,3,4</sup>、諸澤 瞬人<sup>1</sup>、立野 麻美<sup>4</sup>、宮城 伊吹<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 江戸川メディケア病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 国士舘大学大学院人文科学研究科、  
<sup>3</sup> NPO 法人 LD・Dyslexia センター、<sup>4</sup> 多摩北部医療センターリハビリテーション科

## 一般演題 2：半側無視・右半球症候

- 2-1 脳出血後に左半側空間無視を呈した小児一症例の経過……………81  
宮崎 彰子<sup>1,2</sup> (みやざき あきこ)、川崎 美香<sup>1</sup>、八木 真美<sup>1</sup>、種村 純<sup>1,2</sup>、金丸 詩門<sup>3</sup>、  
平岡 崇<sup>3</sup>、花山 耕三<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup>川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科、  
<sup>3</sup>川崎医科大学リハビリテーション医学教室
- 2-2 右被殻出血後に身体パラフレニアを呈した一症例……………81  
堀池 瑞季<sup>1</sup> (ほりいけ みずき)、渡邊 はづき<sup>2</sup>、犬飼 晃見<sup>1</sup>、田中 まゆ<sup>1</sup>、村瀬 完太<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>名古屋第一赤十字病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>名古屋第一赤十字病院脳神経内科
- 2-3 Facial Action Coding System を用いた左右半球損傷者の表情分析  
—感情喚起効果別表情表出の検討—……………82  
小浜 尚也 (おばま なおや)、種村 純  
川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科

## 一般演題 3：半側無視 視覚性訓練

- 3-1 左半側空間無視患者の文章音読に改行位置が及ぼす影響：視線計測を用いた検討……………82  
川崎 美里<sup>1</sup> (かわさき みさと)、阿部 晶子<sup>2</sup>、橋本 律夫<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>国際医療福祉大学病院リハビリテーション室、<sup>2</sup>国際医療福祉大学言語聴覚学科、  
<sup>3</sup>国際医療福祉大学病院脳神経内科
- 3-2 左半側空間無視患者の左視野を遮蔽した訓練と認知訓練との経時的変化の報告……………83  
藤森 禎子<sup>1,2</sup> (ふじもり さちこ)、河野 禎之<sup>3</sup>、吉野 真理子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>河北リハビリテーション病院セラピー部、  
<sup>2</sup>筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻リハビリテーションコース、  
<sup>3</sup>筑波大学人間系
- 3-3 対象中心性無視に対して既成概念の活用が有効であった一例……………83  
西 友希 (にし ともき)、細見 亮太、大谷 武史、徳澤 勝也  
医療法人仁寿会石川病院リハビリテーション部
- 3-4 左半側空間無視における机上検査と日常動作の関連……………84  
尾崎 新平<sup>1,2,3</sup> (おさき しんぺい)、網本 和<sup>3</sup>、田邊 淳平<sup>3</sup>、吉弘 奈央<sup>3</sup>、宮崎 泰広<sup>1,2</sup>、  
恵飛須 俊彦<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>関西電力病院リハビリテーション部、<sup>2</sup>関西電力医学研究所リハビリテーション医学研究部、  
<sup>3</sup>東京都立大学大学院人間健康科学研究科
- 3-5 左半側空間無視に対し空間性注意機能に着目した段階的アプローチにより生活機能の改善に  
繋がった一例……………84  
松岡 和幸<sup>1</sup> (まつおか かずゆき)、本田 佳李<sup>1</sup>、横関 彩佳<sup>1</sup>、小浜 尚也<sup>2</sup>、伊勢 真樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>医療法人誠和会倉敷記念病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科

## 一般演題 4：半側無視 行動的訓練

- 4-1 回復期病棟における時期的特性を捉えた治療により行動性の左半側空間無視症状が改善した一症例 ……………85  
 田村 実子<sup>1</sup> (たむら みこ)、澤 広太<sup>1,2</sup>、福岡 宏之<sup>1</sup>、末永 達也<sup>1</sup>、宮上 光祐<sup>1</sup>、網本 和<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 竹の塚脳神経リハビリテーション病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 東京都立大学大学院人間健康科学研究科理学療法科学域
- 4-2 対象中心性無視を呈した症例に対する手指の運動覚を利用した意識空間拡大の試み ……………85  
 菅原 光晴<sup>1</sup> (すがわら みつはる)、前田 眞治<sup>2</sup>、原 麻理子<sup>3</sup>、山本 潤<sup>4</sup>、近藤 智<sup>5</sup>  
<sup>1</sup> 清伸会ふじの温泉病院、<sup>2</sup> 国際医療福祉大学大学院、  
<sup>3</sup> 国際医療福祉大学福岡保健医療学部作業療法学科、  
<sup>4</sup> 国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科、  
<sup>5</sup> 厚木市立病院リハビリテーション技術科
- 4-3 Posner 課題における機能的電気刺激の影響 ……………86  
 吉弘 奈央<sup>1,2</sup> (よしひろ なお)、網本 和<sup>2</sup>、尾崎 新平<sup>2,3</sup>、田邊 淳平<sup>2,4</sup>  
<sup>1</sup> 関西医療大学保健医療学部作業療法学科、  
<sup>2</sup> 東京都立大学大学院人間健康科学研究科理学療法科学域、  
<sup>3</sup> 関西電力病院リハビリテーション部、<sup>4</sup> 倉敷リハビリテーション病院リハビリテーション部
- 4-4 pitch 角に着目した Head Mounted Display アダプテーションが空間認知・立位バランス・起立動作に及ぼす影響 ……………86  
 市川 恭兵<sup>1,2</sup> (いちかわ きょうへい)、網本 和<sup>2</sup>、沼尾 拓<sup>2,3</sup>、馬場 志<sup>1</sup>、香取 秀一<sup>1</sup>、星野 泰地<sup>1</sup>、嶺村 圭<sup>1</sup>、大竹 史織<sup>1</sup>、藤田 夏那<sup>1</sup>、藤本 恵里菜<sup>1</sup>、緒方 浩香<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 新座病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 東京都立大学人間健康科学研究科理学療法科学域、  
<sup>3</sup> 専門学校社会医学技術学院理学療法学科
- 4-5 バーチャル空間を用いた半側空間無視治療支援システムにおける可動スリットの効果検証 ……87  
 藤本 侑子<sup>1</sup> (ふじもと ゆうこ)、室井 大佑<sup>1</sup>、小森 瑞樹<sup>1</sup>、安田 和弘<sup>2</sup>、佐武 陸史<sup>2</sup>、岩田 浩康<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 亀田リハビリテーション病院リハビリテーション室、<sup>2</sup> 早稲田大学理工学術院総合研究所、  
<sup>3</sup> 早稲田大学創造理工学研究科総合機械工学専攻

## 一般演題 5：失行

- 5-1 口頭指示と動作模倣における認知能力の違いについて ……………87  
 幸田 永<sup>1</sup> (こうだ はるか)、日高 みどり<sup>1</sup>、三宅 正大<sup>1</sup>、寺崎 裕亮<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 糸島医師会病院、<sup>2</sup> 医療法人豊栄会福岡豊栄会病院
- 5-2 機械学習 Deep Lab Cut を用いた失行検査定量化の試み ……………88  
 安藤 瑠称<sup>1</sup> (あんどう るな)、加藤 南<sup>1</sup>、花田 恵介<sup>2</sup>、板口 典弘<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 静岡大学情報学部、<sup>2</sup> 穂翔会村田病院リハビリテーション部

- 5-3 背部操作が拙劣な着衣障害の要因 .....88  
 山本 潤<sup>1</sup> (やまもと じゅん)、前田 眞治<sup>2</sup>、菅原 光晴<sup>3</sup>、原 麻理子<sup>4</sup>、近藤 智<sup>5</sup>、  
 津嶋 かれん<sup>2,5</sup>、新山 祐貴<sup>6</sup>、鈴木 北斗<sup>7</sup>、掬川 晃一<sup>8</sup>  
<sup>1</sup> 国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科、  
<sup>2</sup> 国際医療福祉大学大学院リハビリテーション学分野、  
<sup>3</sup> ふじの温泉病院リハビリテーション科、<sup>4</sup> 国際医療福祉大学福岡保健医療学部作業療法学科、  
<sup>5</sup> 厚木市立病院リハビリテーション技術科、<sup>6</sup> 小田原市立病院リハビリテーション室、  
<sup>7</sup> 座間総合病院リハビリテーション科、  
<sup>8</sup> 花はたりリハビリテーション病院リハビリテーション科
- 5-4 着衣障害に対する早期作業療法の有効性 .....89  
 大西 友香 (おおにし ともか)、森脇 繁登、佐藤 千晃、伊藤 路子、後藤 雪絵、  
 石田 史穂、稗田 朝海、奥野 智寛  
 島根大学医学部附属病院リハビリテーション部
- 5-5 靴を履く動作困難に運動観察療法が有効であった失行症例—シングルケースデザイン— .....89  
 井手 大輔 (いで だいすけ)、片山 薫  
 千葉みなとりリハビリテーション病院
- 5-6 左頭頂葉病変により箸操作能力の低下した一症例 .....90  
 永野 達郎 (ながの たつろう)  
 徳島県立海部病院医療技術局リハビリテーション技術科
- 5-7 失行症例における道具使用障害に関連する要因の検討 .....90  
 大野 泰輔<sup>1,2</sup> (おおの たいすけ)、磯野 理<sup>3</sup>、種村 留美<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 京都民医連あすかい病院リハビリテーション部、<sup>2</sup> 神戸大学大学院保健学研究科、  
<sup>3</sup> 京都民医連あすかい病院神経内科・リハビリテーション科

一般演題 6：前頭葉性動作障害

- 6-1 左前大脳動脈領域の脳梗塞および左頭頂葉皮質下出血により、両手に異常行動を呈した一症例 .....91  
 藤田 純平<sup>1</sup> (ふじた じゅんぺい)、黒須 咲良<sup>1</sup>、山田 悟志<sup>1</sup>、長嶋 理恵子<sup>1</sup>、  
 日下部 みどり<sup>1</sup>、中条 朋子<sup>1</sup>、齋藤 久子<sup>2</sup>、上村 和也<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 筑波メディカルセンター病院リハビリテーション療法科、  
<sup>2</sup> 筑波メディカルセンター病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup> 筑波メディカルセンター病院脳神経外科
- 6-2 利用行動 (Utilization behavior) が疑われる症状が下肢にも観察された一例 .....91  
 岡本 淳志 (おかもと あつし)、溝部 佳史、川原 薫、山中 崇  
 福山リハビリテーション病院リハビリテーション部
- 6-3 Action disorganization syndrome を呈した事例に対するトイレ動作の獲得に向けた介入 .....92  
 池上 正斗 (いけがみ まさと)、池上 俊作  
 伊那中央病院リハビリテーション技術科
- 6-4 右前頭葉面損傷により左手に限局した一過性の行為異常が見られた一例 .....92  
 大和 吉郎 (やまと よしろう)、山桑 淑子  
 岩手県立磐井病院リハビリテーション技術科

- 6-5 右上肢に左半側空間無視と左下肢に運動開始困難を認めた脳梁離断症候群の一例 ……93  
 稲田 雅也<sup>1</sup> (いなだ まさなり)、山岸 誠<sup>1</sup>、村上 照美<sup>1</sup>、松宮 美奈<sup>1</sup>、中村 健<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 横浜市立大学附属病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 横浜市立大学医学部リハビリテーション科学教室
- 6-6 脳出血後に認めた非麻痺側上下肢の運動異常によりリハビリテーションに難渋した症例 ……93  
 今田 泰裕<sup>1,2</sup> (いまだ やすひろ)、備酒 睦子<sup>1</sup>、三浦 靖史<sup>2</sup>、中嶋 千也<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 神戸救済会病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 神戸大学大学院保健学研究科、  
<sup>3</sup> 神戸救済会病院脳神経外科

一般演題 7：失語症症候
--------------

- 7-1 Broca 失語における動詞喚語の障害特性の検討 ……94  
 岩田 晃典<sup>1</sup> (いわた あきのり)、藤田 郁代<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 元 済生会湘南平塚病院リハビリテーション技術科、  
<sup>2</sup> 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科
- 7-2 語想起課題の継時的評価における産出単語の時間情報・頻度情報を用いた解析 ……94  
 大門 正太郎<sup>1</sup> (だいもん しょうたろう)、能登 葉<sup>1</sup>、板口 典弘<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> クラーク病院、<sup>2</sup> 静岡大学情報学部
- 7-3 重度の非語復唱障害を呈した軽度失語症例における聴覚的理解および音韻機能の分析 ……95  
 唐澤 健太<sup>1,2</sup> (からさわ けんた)、春原 則子<sup>2</sup>、鈴木 智也<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> リハビリテーション天草病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 目白大学大学院リハビリテーション学研究科
- 7-4 仮名語の音読における心像性効果 ……95  
 渡辺 眞澄<sup>1</sup> (わたなべ ますみ)、山崎 悠貴<sup>2</sup>、和田 歩美<sup>3</sup>、辰巳 格<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 県立広島大学、<sup>2</sup> 錦海リハビリテーション病院、<sup>3</sup> 松山リハビリテーション病院、  
<sup>4</sup> LD, Dyslexia センター
- 7-5 SLTA「呼称」と「漢字単語の音読」と「仮名单語の音読」の関係性について ……96  
 中川 良尚<sup>1</sup> (なかがわ よしたか)、笹嶋 侑子<sup>1</sup>、近藤 郁江<sup>1</sup>、岩佐 香菜美<sup>2</sup>、  
 原 未来<sup>1</sup>、木下 結理<sup>1</sup>、佐野 洋子<sup>1</sup>、船山 道隆<sup>2</sup>、山谷 洋子<sup>3</sup>、加藤 正弘<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 江戸川病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 足利赤十字病院精神神経科、<sup>3</sup> 江戸川病院神経内科
- 7-6 意味連合検査 SAT の臨床的有用性に関する検討 ……96  
 佐藤 ひとみ (さとう ひとみ)  
 浴風会病院リハビリテーション科
- 7-7 日本語の動詞活用に関する基礎的研究 ……97  
 渡辺 眞澄<sup>1</sup> (わたなべ ますみ)、西河 杏莉<sup>2</sup>、仁井山 志穂<sup>3</sup>、辰巳 格<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 県立広島大学、<sup>2</sup> 暁生会脳神経外科病院、<sup>3</sup> 西広島リハビリテーション病院、  
<sup>4</sup> LD, Dyslexia センター

- 7-8 発語失行症状に語のアクセントが及ぼす影響—右半球損傷による検討……………97  
 地主 千尋<sup>1</sup> (じぬし ちひろ)、小森 規代<sup>1</sup>、櫻岡 絵里香<sup>1</sup>、佐藤 美穂<sup>3</sup>、浦野 友彦<sup>2</sup>、  
 阿部 晶子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科、<sup>2</sup> 国際医療福祉大学医学部老年病学講座、  
<sup>3</sup> 介護老人保健施設マロニエ苑通所リハビリテーション

一般演題 8：発話

- 8-1 両手利き右中心前回損傷例の発語失行の回復経過について……………98  
 木下 結理<sup>1</sup> (きのした ゆり)、中川 良尚<sup>1</sup>、笹嶋 侑子<sup>1</sup>、近藤 郁江<sup>1</sup>、岩佐 香菜美<sup>1</sup>、  
 原 未来<sup>1</sup>、佐野 洋子<sup>1</sup>、船山 道隆<sup>2</sup>、山谷 洋子<sup>3</sup>、加藤 正弘<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 江戸川病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 足利赤十字病院神経精神科、<sup>3</sup> 江戸川病院神経内科
- 8-2 左中心前回損傷例と左基底核損傷例における「構音の歪み」の出現機序の検討……………98  
 高倉 祐樹<sup>1</sup> (たかくら ゆうき)、大槻 美佳<sup>1,2</sup>、中川 賀嗣<sup>3</sup>、業天 那奈香<sup>4</sup>、杉原 俊一<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 北海道大学大学院保健科学研究院高次脳機能創発分野、<sup>2</sup> 北海道大学大学院保健科学研究院、  
<sup>3</sup> 北海道医療大学リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科、  
<sup>4</sup> 札幌秀友会病院リハビリテーション科
- 8-3 発語失行を呈した運動性失語患者に対するモーラ指折り法と口形模倣の訓練効果……………99  
 三橋 優香<sup>1</sup> (みつはし ゆうか)、沖田 啓子<sup>2</sup>、岡本 隆嗣<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 医療法人社団朋和会西広島リハビリテーション病院、<sup>2</sup> 広島国際大学
- 8-4 左前頭葉脳腫瘍摘出後に超皮質性運動失語を呈した症例……………99  
 押 沙織<sup>1</sup> (おし さおり)、上田 敬太<sup>2</sup>、上田 将也<sup>1</sup>、荒川 芳輝<sup>3</sup>、峰晴 陽平<sup>3</sup>、  
 山尾 幸広<sup>3</sup>、田嶋 あゆみ<sup>1</sup>、山脇 理恵<sup>1</sup>、村井 俊哉<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 京都大学医学部附属病院リハビリテーション部、<sup>2</sup> 京都大学大学院医学研究科精神医学、  
<sup>3</sup> 京都大学大学院医学研究科脳神経外科学
- 8-5 叙発的発話が困難であった超皮質性運動失語の一例……………100  
 元木 雄一朗<sup>1</sup> (もとき ゆういちろう)、赤池 絢<sup>1</sup>、武井 徳子<sup>1</sup>、東川 麻里<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 甲州リハビリテーション病院リハビリテーション部、<sup>2</sup> 北里大学医療衛生学部
- 8-6 右前頭葉、脳梁膝部の脳腫瘍による著明な声量低下に対し、ロンバール効果を用いた発声訓練  
 が奏功した症例……………100  
 橋本 悠<sup>1</sup> (はしもと ゆう)、宮崎 友理<sup>1</sup>、幸田 剣<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup> 和歌山県立医科大学附属病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座
- 8-7 ジェスチャーを伴うことで音の途切れが解消された重度 Broca 失語症例に対する病態解釈…101  
 林田 佳子 (はやしだ よしこ)、橋本 宏二郎、石橋 ゆりえ、信迫 香織、奥埜 博之  
 医療法人孟仁会摂南総合病院リハビリテーション科
- 8-8 2度の脳梗塞により前部弁蓋部症候群 (Foix-Chavany-Marie syndrome : FCMS) を呈した一症例  
 ……………101  
 春尾 章代<sup>1</sup> (はるお ふみよ)、東山 毅<sup>1</sup>、檜林 哲雄<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 兵庫県立リハビリテーション西播磨病院、<sup>2</sup> 高知大学医学部神経精神科学講座

- 8-9 頭部外傷後、意識回復過程で数の独語を呈した2症例 .....102  
 熊倉 真理<sup>1</sup> (くまくら まり)、石原 禎人<sup>1</sup>、竹崎 里保<sup>1</sup>、向井 義博<sup>1</sup>、栗ヶ窪 亮<sup>1</sup>、  
 濱田 博文<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 社会医療法人緑泉会米盛病院リハビリテーション課、  
<sup>2</sup> 社会医療法人緑泉会米盛病院リハビリテーション科

一般演題 9：失語訓練

- 9-1 深層学習モデルを用いた呼称課題における誤答分析(線画と語彙の特徴分析)の試み .....102  
 浅川 伸一<sup>1</sup> (あさかわ しんいち)、大門 正太郎<sup>2</sup>、橋本 幸成<sup>3</sup>、高倉 祐樹<sup>5</sup>、  
 上間 清司<sup>4</sup>、吉原 将大<sup>6</sup>  
<sup>1</sup> 東京女子大学、<sup>2</sup> クラーク病院、<sup>3</sup> JCHO 熊本総合病院、<sup>4</sup> イムス板橋リハビリテーション病院、  
<sup>5</sup> 北海道大学、<sup>6</sup> 国際交流基金
- 9-2 深層学習を用いた失語症患者の音声認識システムの開発 .....103  
 北原 正道<sup>1</sup> (きたはら まさみち)、山田 千晴<sup>1</sup>、大門 正太郎<sup>2</sup>、板口 典弘<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 静岡大学情報学部、<sup>2</sup> クラーク病院リハビリテーション部
- 9-3 日本語版 Multi-Modality Aphasia Therapy の開発-重度失語症 2 例の介入報告- .....103  
 北川 敬太<sup>1</sup> (きたがわ けいた)、木村 航<sup>2</sup>、田中 康博<sup>3</sup>、関根 和生<sup>4</sup>、辰巳 寛<sup>3</sup>、  
 Miranda L Rose<sup>5</sup>  
<sup>1</sup> 社団医療法人かなめ会山内ホスピタルリハビリテーション科、  
<sup>2</sup> 白鳳短期大学リハビリテーション学専攻、<sup>3</sup> 愛知学院大学心身科学部健康科学科、  
<sup>4</sup> 早稲田大学人間科学学術院、<sup>5</sup> La Trobe University
- 9-4 言語治療支援アプリケーションを用いた次世代言語治療の試み .....104  
 勝野 由大<sup>1,2</sup> (かつの ゆうた)、辰巳 寛<sup>3</sup>、長尾 確<sup>4</sup>、伊東 慶一<sup>5</sup>、福原 佳代<sup>5</sup>、  
 菅 博人<sup>6</sup>、植木 美乃<sup>7</sup>、松川 則之<sup>8</sup>  
<sup>1</sup> 名古屋第二赤十字病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 名古屋市立大学大学院医学研究科、  
<sup>3</sup> 愛知学院大学心身科学部、<sup>4</sup> 名古屋大学情報学研究科知能システム学専攻、  
<sup>5</sup> 社会医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院リハビリテーション科、  
<sup>6</sup> 名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻、  
<sup>7</sup> 名古屋市立大学大学院医学研究科リハビリテーション医学分野、  
<sup>8</sup> 名古屋市立大学大学院医学研究科脳神経内科
- 9-5 失語症の自発話課題における経頭蓋直流電気刺激の効果 .....104  
 井原 綾<sup>1</sup> (いはら あや)、宮崎 彰子<sup>2</sup>、伊澤 幸洋<sup>3,4</sup>、高山 みさき<sup>4</sup>、花山 耕三<sup>5</sup>、  
 種村 純<sup>6</sup>  
<sup>1</sup> 国立研究開発法人情報通信研究機構、<sup>2</sup> 川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター、  
<sup>3</sup> 福山市立大学教育学部、<sup>4</sup> 岡山リハビリテーション病院、  
<sup>5</sup> 川崎医科大学リハビリテーション医学教室、<sup>6</sup> 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部
- 9-6 長期入院中の小児がん患者に対する言語聴覚療法の試み .....105  
 湯野 真弓<sup>1</sup> (ゆの まゆみ)、温井 めぐみ<sup>1</sup>、沖 啓祐<sup>1</sup>、日浦 麻緒<sup>1</sup>、小川 智江<sup>1</sup>、  
 草間 由実子<sup>1</sup>、山崎 夏維<sup>2</sup>、仁谷 千賀<sup>2</sup>、岡田 恵子<sup>2</sup>、藤崎 弘之<sup>2</sup>、原 純一<sup>2</sup>、  
 川脇 壽<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 大阪市立総合医療センター小児言語科、<sup>2</sup> 大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科

一般演題 10：進行性失語

- 10-1 Alzheimer 病患者が呈する誤りから見る抽象語の理解構造とその障害—プロトタイプからの逸脱 ……………105  
古本 英晴 (ふるもと ひではる)、三浦 康子  
独立行政法人国立病院機構千葉医療センター脳神経内科
- 10-2 多弁であったために長期間診断が遅れた語義失語を伴った前頭側頭葉変性症 ……………106  
中島 明日佳<sup>1</sup> (なかじま あすか)、船山 道隆<sup>2</sup>、中村 智之<sup>1</sup>、稲葉 貴恵<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 足利赤十字病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 足利赤十字病院神経精神科
- 10-3 左側頭頭頂葉皮質下出血にて語義の障害を中核とした失語症を認めた症例について ……106  
堀池 正太<sup>1</sup> (ほりいけ しょうた)、本村 絢子<sup>2</sup>、深川 和利<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 社会医療法人宏潤会大同病院リハビリテーション科、  
<sup>2</sup> 社会医療法人宏潤会大同病院脳神経外科
- 10-4 演題取り下げ
- 10-5 発語失行を伴わない原発性失文法型進行性失語の 62 歳女性例……………107  
長谷川 靖子<sup>1</sup> (はせがわ やすこ)、板谷 早希子<sup>2</sup>、今井 美有紀<sup>1</sup>、阿部 圭輔<sup>2</sup>、  
稲葉 彰<sup>2</sup>、織茂 智之<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 公立学校共済組合関東中央病院リハビリテーション科、  
<sup>2</sup> 公立学校共済組合関東中央病院脳神経内科

一般演題 11：談話・コミュニケーション

- 11-1 標準失語症検査「まंगाの説明」における文発話の分析：統語的単純化について ……………108  
土橋 三枝子<sup>1</sup> (つちはし みえこ)、村上 実穂<sup>2</sup>、作田 浩行<sup>3</sup>、磯 さおり<sup>4</sup>、上坂 義和<sup>5</sup>  
<sup>1</sup> 武蔵中原まちいきクリニック、<sup>2</sup> 虎の門病院リハビリテーション部言語聴覚科、  
<sup>3</sup> 昭和大学保健医療学部作業療法学科、<sup>4</sup> さいたま赤十字病院リハビリテーション科、  
<sup>5</sup> 虎の門病院脳神経内科
- 11-2 右大脳半球損傷者に対する談話評価法の検討 ……………108  
植谷 利英<sup>1</sup> (うえたに りえ)、種村 純<sup>1</sup>、伊澤 幸洋<sup>2,3</sup>、太田 信子<sup>1</sup>、時田 春樹<sup>1</sup>、  
戸田 淳氏<sup>1</sup>、宮崎 彰子<sup>4</sup>、花山 耕三<sup>4,5</sup>  
<sup>1</sup> 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科、  
<sup>2</sup> 福山市立大学教育学部児童教育学科、  
<sup>3</sup> 岡山リハビリテーション病院リハビリテーション部言語聴覚室、  
<sup>4</sup> 川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター、  
<sup>5</sup> 川崎医科大学リハビリテーション医学教室
- 11-3 中等度混合型失語症一例における意思伝達能力の高さについて ……………109  
原 未来<sup>1</sup> (はら みき)、中川 良尚<sup>1</sup>、笹嶋 侑子<sup>1</sup>、近藤 郁江<sup>1</sup>、岩佐 香菜美<sup>1</sup>、  
木下 結理<sup>1</sup>、佐野 洋子<sup>1</sup>、船山 道隆<sup>2</sup>、山谷 洋子<sup>3</sup>、加藤 正弘<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 江戸川病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 足利赤十字病院神経精神科、<sup>3</sup> 江戸川病院神経内科

- 11-4 SLTA「口頭命令に従う」「語列挙」に長期的な改善を認めた失語症例  
 —社会生活で求められる言語機能の重要性— ……………109  
 笹嶋 侑子<sup>1</sup> (ささじま ゆうこ)、中川 良尚<sup>1</sup>、近藤 郁江<sup>1</sup>、岩佐 香菜美<sup>1</sup>、原 未来<sup>1</sup>、  
 木下 結理<sup>1</sup>、佐野 洋子<sup>1</sup>、船山 道隆<sup>2</sup>、山谷 洋子<sup>3</sup>、加藤 正弘<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>江戸川病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>足利赤十字病院神経精神科、<sup>3</sup>江戸川病院神経内科
- 11-5 認知症高齢者の能動的コミュニケーション活動と BPSD との関連性について ……………110  
 弘田 修一 (ひろた しゅういち)  
 社会福祉法人香南会特別養護老人ホーム香南赤岡苑機能訓練部

一般演題 12：書字
------------

- 12-1 実在漢字を不適切に組合せた右半球損傷 2 症例 ……………110  
 小割 貴博<sup>1,2</sup> (こわり たかひろ)、宮崎 泰広<sup>3,4</sup>、池野 雅裕<sup>5</sup>、種村 純<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup>川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究科感覚矯正学専攻、  
<sup>3</sup>関西電力病院リハビリテーション科、<sup>4</sup>関西電力医学研究所、  
<sup>5</sup>川崎医療福祉大学言語聴覚療法学科
- 12-2 左上中側頭回後部の脳梗塞により漢字に選択的な書字障害を認めた一例 ……………111  
 大石 斐子<sup>1</sup> (おおいし あやこ)、徳山 明子<sup>2</sup>、辻川 将弘<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科、  
<sup>2</sup>東京湾岸リハビリテーション病院言語聴覚科、  
<sup>3</sup>東京湾岸リハビリテーション病院リハビリテーション科
- 12-3 脳梁膨大部ならびに小脳脚の梗塞により失書を呈した一例 ……………111  
 磯尾 摩耶<sup>1</sup> (いそお まや)、坂井 麻里子<sup>2</sup>、西川 隆<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>大阪府済生会茨木病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>友誼会総合病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup>奈良学園大学保健医療学部リハビリテーション学科
- 12-4 平仮名と片仮名の対連合学習が片仮名想起に有効であった失語症の 1 例 ……………112  
 若松 千裕<sup>1,2</sup> (わかまつ かずひろ)、石合 純夫<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>札幌医科大学附属病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座
- 12-5 仮名書字の誤りを主症状とした交叉性失語の一例 ……………112  
 内山 美保 (うちやま みほ)、森脇 元希、高木 大輔  
 聖隷三方原病院リハビリテーション部
- 12-6 外傷性クモ膜下出血後に小字症を呈した症例に対する書字訓練の効果 ……………113  
 渡邊 俊紀<sup>1,2</sup> (わたなべ としのり)、太田 久晶<sup>3</sup>、若松 千裕<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>社会医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>藤田医科大学大学院保健学研究科、<sup>3</sup>札幌医科大学保健医療学部作業療法学科、  
<sup>4</sup>札幌医科大学附属病院リハビリテーション部

- 12-7 左放線冠梗塞にてタイピング障害を呈した1例 ……………113  
 金森 薫子<sup>1</sup> (かなもり かおるこ)、辰巳 寛<sup>2</sup>、大羽 知里<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>名古屋第二赤十字病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>愛知学院大学心身科学部、  
<sup>3</sup>名古屋第二赤十字病院脳神経内科

一般演題 13：小児

- 13-1 日本語話者児童の「ひらがな」と「漢字」における読み困難の出現率について ……………114  
 澁谷 文恵<sup>1,3</sup> (しぶや ふみえ)、宇野 彰<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>筑波大学芸術系、<sup>2</sup>筑波大学人間系、<sup>3</sup>NPO 法人LD・Dyslexia センター
- 13-2 言語優位側側頭葉切除後も言語機能が保たれた一小児てんかん例 ……………114  
 日浦 麻緒<sup>1</sup> (ひうら まお)、温井 めぐみ<sup>1,3</sup>、沖 啓祐<sup>1</sup>、湯野 真弓<sup>1</sup>、小川 智江<sup>1</sup>、  
 草間 由実子<sup>1</sup>、内山 良則<sup>2</sup>、山本 直寛<sup>3</sup>、井上 岳司<sup>3</sup>、川脇 壽<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>大阪市立総合医療センター小児言語科、<sup>2</sup>大阪市立総合医療センターリハビリテーション科、  
<sup>3</sup>大阪市立総合医療センター小児神経内科
- 13-3 日本語版 School Function Assessment の標準化研究—ICF 基づいた生活機能評価の作成— 115  
 馬屋原 誠司<sup>1</sup> (まやはら せいじ)、中島 恵子<sup>2</sup>、服部 環<sup>3</sup>、金築 優<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>広島市教育委員会、<sup>2</sup>京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科、  
<sup>3</sup>法政大学現代福祉学部人間社会研究科
- 13-4 小児期の高次脳機能障害の困難さに関する日常生活場面の特徴—成人高次脳機能障害者との比較から— ……………115  
 岩崎 也生子 (いわさき やおこ)  
 杏林大学

一般演題 14：記憶

- 14-1 「遠隔記憶検査更新版」試案を用いた逆行性健忘の評価の試み ……………116  
 山本 小緒里<sup>1</sup> (やまもと さおり)、赤荻 英理<sup>2</sup>、井上 澄香<sup>1</sup>、田中 春奈<sup>3</sup>、  
 小西 海香<sup>4</sup>、斎藤 文恵<sup>4</sup>、江口 洋子<sup>4</sup>、三村 悠<sup>4</sup>、穴水 幸子<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>千葉県千葉リハビリテーションセンター言語聴覚科、  
<sup>2</sup>千葉県千葉リハビリテーションセンター脳神経内科、  
<sup>3</sup>東京都健康長寿医療センターリハビリテーション科、  
<sup>4</sup>神経内科慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
- 14-2 側頭葉てんかん患者におけるウェクスラー記憶検査改訂版の言語性記憶と長さの異なる談話の聴覚理解との関係 ……………116  
 木下 美帆<sup>1</sup> (きのした みほ)、廣實 真弓<sup>2</sup>、渡辺 雅子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>練馬駅リハビリテーション病院医療技術部リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>帝京平成大学健康メディカル学部言語聴覚学科、<sup>3</sup>新宿神経クリニック
- 14-3 スマートフォンアラーム機能を利用した高次脳機能障害デイケアにおける展望記憶訓練 ……………117  
 俵 あゆみ<sup>1</sup> (たわら あゆみ)、江尻 知穂<sup>1</sup>、佐伯 裕美<sup>1</sup>、藤埜 美由紀<sup>1</sup>、蜂谷 敦子<sup>1</sup>、  
 新藤 千夏<sup>1</sup>、李 彩織<sup>1</sup>、塚越 千尋<sup>1,2</sup>、納谷 敦夫<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>なやクリニック、<sup>2</sup>藍野大学医療保健学部

- 14-4 論理的記憶と遂行機能における関連性の検討 ……117  
 黒川 翔<sup>1,2</sup> (くろかわ しょう)、石合 純夫<sup>2</sup>、若松 千裕<sup>1,2</sup>、相原 伸子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 札幌医科大学附属病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座

一般演題 15：注意

- 15-1 Self-Organizing Map を用いた脳卒中患者における軽度ビジランス機能低下の検出 (第2報) …118  
 牛尾 真也<sup>1</sup> (うしお しんや)、矢田 かおり<sup>1</sup>、松重 輝顕<sup>2</sup>、三澤 秀明<sup>3</sup>、常盤 達司<sup>4</sup>、  
 宮口 英樹<sup>5</sup>  
<sup>1</sup> 地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立リハビリテーション病院リハビリテーション技術科、  
<sup>2</sup> 地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立自立訓練施設、  
<sup>3</sup> 宇部工業高等専門学校電気工学科、<sup>4</sup> 広島市立大学大学院情報科学研究科、  
<sup>5</sup> 広島大学大学院医系科学研究科
- 15-2 演題取り下げ

一般演題 16：社会的行動障害

- 16-1 大音量で音楽をかける等の問題行動が減少し相談終結に至った社会的行動障害の一症例 …119  
 西村 彩<sup>1,2</sup> (にしむら あや)、江村 俊平<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 永生病院高次脳機能障害支援事業推進室、<sup>2</sup> 永生クリニックリハビリテーション科
- 16-2 高次脳機能障害支援における社会的行動障害への対応 ……119  
 瀧澤 学 (たきざわ がく)  
 神奈川リハビリテーション病院
- 16-3 個人・集団・組織・地域レベルで、いかに高次脳機能障害への取組みの質を高めるか  
 1. 個人・集団レベル ……120  
 竹内 正人 (たけうち まさひと)、有賀 美紀  
 医療法人社団城東桐和会タムス浦安病院
- 16-4 社会生活尺度 SL-77 の検者間信頼性について ……120  
 佐敷 俊成<sup>1</sup> (さしき としなり)、川上 寿一<sup>1,2</sup>、平川 圭子<sup>1</sup>、渡辺 幸子<sup>1</sup>、中馬 孝容<sup>1</sup>、  
 藤田 美奈子<sup>1</sup>、丸木 仁<sup>1</sup>、田邊 陽子<sup>3</sup>、小西川 梨紗<sup>3</sup>、生方 志浦<sup>4</sup>、上田 敬太<sup>4</sup>、  
 村井 俊哉<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 滋賀県立総合病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 滋賀県立リハビリテーションセンター、  
<sup>3</sup> 滋賀県高次脳機能障害支援センター、<sup>4</sup> 京都大学大学院医学研究科精神医学教室

一般演題 17：神経行動リハ

- 17-1 感情コントロール障害を呈した症例に対する個別 SST の介入経験 ……121  
 高倉 沙樹 (たかくら さき)、戸高 綾、野村 心  
 社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター

- 17-2 左視床損傷後の Apathy 症例に対し目標指向型アプローチを行うことで生活機能改善が実現した一例 ……………121  
 佐藤 良樹<sup>1</sup> (さとう よしき)、横関 彩佳<sup>1</sup>、小浜 尚也<sup>2</sup>、伊勢 眞樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 医療法人誠和会倉敷記念病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科
- 17-3 右視床背内側核損傷により幼似的な人格変化と依存的行動を示した一症例 ……………122  
 大谷 武史<sup>1</sup> (おおたに たけし)、木村 大輔<sup>2</sup>、平松 佑一<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 医療法人仁寿会石川病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科、  
<sup>3</sup> 社会医療法人大道会森之宮病院神経リハビリテーション研究部
- 17-4 精神科病棟での管理が必要な高次脳機能障害患者の在宅復帰 ……………122  
 黒瀬 心<sup>1</sup> (くろせ しん)、船山 道隆<sup>1</sup>、中島 明日佳<sup>2</sup>、清水 裕介<sup>1</sup>、工藤 駿<sup>1</sup>、  
 三村 悠<sup>3</sup>、高田 武人<sup>1</sup>、三村 将<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 足利赤十字病院神経精神科、<sup>2</sup> 足利赤十字病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup> 慶應義塾大学医学部精神・神経科
- 17-5 可逆性後頭葉白質脳症後に過剰な「こだわり」が出現した全身性エリテマトーデスの一例 ……123  
 黒瀬 心<sup>1</sup> (くろせ しん)、船山 道隆<sup>1</sup>、青木 聖里菜<sup>2</sup>、清水 裕介<sup>1</sup>、三村 悠<sup>3</sup>、  
 高田 武人<sup>1</sup>、三村 将<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 足利赤十字病院神経精神科、<sup>2</sup> 足利赤十字病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup> 慶應義塾大学医学部精神・神経科
- 17-6 アルコール依存症者の注意・意欲・気分に関する検討～健常者との比較～ ……………123  
 水島 久美子<sup>1</sup> (みずしま くみこ)、佐藤 順子<sup>1,2</sup>、森下 夏帆<sup>1</sup>、内田 あおい<sup>1</sup>、  
 吉田 伸一<sup>1</sup>、奥田 正英<sup>1</sup>、水谷 浩明<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 資生会八事病院、<sup>2</sup> 聖隷クリストファー大学

一般演題 18：小脳
------------

- 18-1 急性期脳卒中における小脳病変を起因とした高次脳機能障害の特徴 ……………124  
 市本 将也<sup>1</sup> (いちもと まさや)、時田 春樹<sup>2</sup>、野間 陸<sup>3</sup>、種村 純<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門、  
<sup>2</sup> 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科、  
<sup>3</sup> 脳神経センター大田記念病院リハビリテーション課
- 18-2 小脳の高次脳機能検査として Cerebellar cognitive affective syndrome scale を試用して ……124  
 坪井 理佳 (つばい りか)、山下 豊、村上 里奈、植木 美乃  
 名古屋市立大学病院リハビリテーション科
- 18-3 小脳領域の腫瘍摘出術後に MCAS (Mie Constructional Ability Scale) が改善した 2 例 ……125  
 松田 佳奈<sup>1,2</sup> (まつだ かな)、佐藤 正之<sup>3</sup>、上田 有紀人<sup>2</sup>、青木 一晃<sup>4</sup>、山本 篤志<sup>4</sup>、  
 三浦 洋一<sup>4</sup>、松原 年生<sup>4</sup>、鈴木 秀謙<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学、<sup>2</sup> 三重大学病院リハビリテーション部、  
<sup>3</sup> 三重大学大学院医学系研究科認知症医療学、<sup>4</sup> 三重大学大学院医学系研究科脳神経外科学

- 18-4 小脳上衣腫治療後に Cerebellar Cognitive Affective Syndrome(CCAS)を呈した児への学習支援  
 .....125  
 沖 啓祐<sup>1</sup> (おき けいすけ)、温井 めぐみ<sup>1,2</sup>、國廣 誉世<sup>3</sup>、湯野 真弓<sup>1</sup>、日浦 麻緒<sup>1</sup>、  
 小川 智江<sup>1</sup>、草間 由実子<sup>1</sup>、川脇 壽<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>大阪市立総合医療センター小児言語科、<sup>2</sup>大阪市立総合医療センター小児神経内科、  
<sup>3</sup>大阪市立総合医療センター小児脳神経外科
- 18-5 右小脳出血後に統語の障害を呈した症例 .....126  
 野上 千尋<sup>1,2</sup> (のがみ ちひろ)、平山 和美<sup>2</sup>、橋本 竜作<sup>3</sup>、中川 瑞穂<sup>1</sup>、齋藤 佑規<sup>4</sup>、  
 竹村 直<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>山形県立保健医療大学大学院保健医療学研究科、  
<sup>3</sup>北海道医療大学心理科学部言語聴覚療法学科、  
<sup>4</sup>社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院脳神経外科
- 18-6 橋病変を契機として高次脳機能障害を呈した2症例 .....126  
 鮫島 悠子<sup>1</sup> (さめしま ゆうこ)、門田 良子<sup>1</sup>、松元 龍<sup>1</sup>、村山 芳博<sup>1</sup>、神田 直昭<sup>2</sup>、  
 堂園 浩一朗<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>公益財団法人慈愛会今村総合病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>公益財団法人慈愛会今村総合病院脳神経内科、  
<sup>3</sup>公益財団法人慈愛会今村総合病院リハビリテーション科
- 一般演題 19：特殊な原因疾患
- 19-1 内頸動脈狭窄症に対する治療前後における高次脳機能検査の変化 .....127  
 竹内 奈緒子<sup>1</sup> (たけうち なおこ)、新貝 尚子<sup>1</sup>、重枝 諒太<sup>2</sup>、福田 明<sup>1</sup>、  
 大久保 誠二<sup>3</sup>、井上 智弘<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>NTT 東日本関東病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>NTT 東日本関東病院脳神経外科、  
<sup>3</sup>NTT 東日本関東病院脳血管内科
- 19-2 Bickerstaff 型脳幹脳炎後に高次脳機能障害を呈した一例 .....127  
 野村 心<sup>1</sup> (のむら しん)、中原 佑太郎<sup>1</sup>、甲斐 祥吾<sup>1</sup>、本田 昇司<sup>1</sup>、吉川 公正<sup>1,2</sup>、  
 中島 恵子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup>遠賀中間医師会おかがき病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup>京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科
- 19-3 症候性海綿状血管腫奇形に伴う高次脳機能障害の検討(第一報).....128  
 粟ヶ窪 亮 (あわがくぼ りょう)、石原 禎人、向井 義博、竹下 聖将、平江 典丈、  
 乾 光梨、八木 優衣、川路 史也、田中 信行、濱田 博文  
 社会医療法人緑泉会米盛病院リハビリテーション課

- 20-1 演題取り下げ
- 20-2 成人の健常加齢と高次脳機能における脳内神経回路解析 ……………129  
 水野 聡美<sup>1</sup> (みずの さとみ)、前澤 聡<sup>2,3</sup>、バガリナオ エピファニオ<sup>2</sup>、大嶽 れい子<sup>2</sup>、  
 原 一洋<sup>2,4</sup>、渡辺 宏久<sup>6</sup>、尾崎 紀夫<sup>2,5</sup>、祖父江 元<sup>2,7</sup>  
<sup>1</sup> 国立病院機構名古屋医療センターリハビリテーション科、  
<sup>2</sup> 名古屋大学脳とこころの研究センター、<sup>3</sup> 名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科学、  
<sup>4</sup> 名古屋大学大学院医学系研究科脳神経内科学、  
<sup>5</sup> 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学親と子どもの心療学、<sup>6</sup> 藤田医科大学脳神経内科、  
<sup>7</sup> 愛知医科大学
- 20-3 発達性読み書き障害を合併する自閉スペクトラム症児の音読速度と白質線維束の関連に関する検討 ……………129  
 加藤 陽子<sup>1</sup> (かとう ようこ)、下野 九理子<sup>2,3</sup>、富永 康仁<sup>2,3</sup>、山本 知加<sup>1,2</sup>、  
 中西 真理子<sup>1,3</sup>、橘 雅弥<sup>1,3</sup>、毛利 育子<sup>2,3</sup>、谷池 雅子<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup> 大阪大学大学院連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター、  
<sup>2</sup> 大阪大学大学院連合小児発達学研究科、<sup>3</sup> 大阪大学大学院医学系研究科小児科
- 20-4 右島皮質損傷例が呈した特徴的な神経心理学的症状の発現機序 ……………130  
 有川 瑛人<sup>1,2</sup> (ありかわ えいと)、窪田 正大<sup>2</sup>、原口 友子<sup>1</sup>、堀ノ内 啓介<sup>3</sup>、  
 有馬 美智子<sup>4</sup>、夏越 祥次<sup>5</sup>  
<sup>1</sup> 医療法人玉昌会加治木温泉病院総合リハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup> 鹿児島大学大学院保健学研究科、<sup>3</sup> 医療法人玉昌会加治木温泉病院リハビリテーション科、  
<sup>4</sup> 鹿児島大学病院リハビリテーション科、<sup>5</sup> 医療法人玉昌会加治木温泉病院消化器外科
- 20-5 手話言語の MEG による検討 ……………130  
 本田 美和<sup>1</sup> (ほんだ みわ)、河野 寛一<sup>1</sup>、苅安 誠<sup>2</sup>、下堂 蘭 恵<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 潤和会記念病院リハビリテーション科、<sup>2</sup> 京都学園大学健康医療学部言語聴覚学科、  
<sup>3</sup> 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学
- 20-6 脳神経外科患者を対象とした感覚過敏性の検討 ……………131  
 越智 隆太<sup>1,2</sup> (おち りゅうた)、斎藤 聖子<sup>3</sup>、弘光 健太郎<sup>2,4</sup>、重宗 弥生<sup>5</sup>、  
 浜本 加奈子<sup>6</sup>、鈴木 佑大<sup>1</sup>、岩立 文香<sup>7</sup>、篠浦 伸禎<sup>8</sup>、山田 良治<sup>8</sup>、緑川 晶<sup>9</sup>  
<sup>1</sup> 中央大学大学院文学研究科、<sup>2</sup> 中央大学人文科学研究科、<sup>3</sup> 杏林大学医学部、  
<sup>4</sup> 東京大学大学院人文社会系研究科、<sup>5</sup> 中央大学研究開発機構、  
<sup>6</sup> 国立障害者リハビリテーションセンター病院リハビリテーション部門臨床心理、  
<sup>7</sup> 東京大学大学院教育学研究科、<sup>8</sup> がん・感染症センター都立駒込病院脳神経外科、  
<sup>9</sup> 中央大学文学部
- 20-7 高齢入院患者に対する視力評価の試み～評価方法、応答方法及び認知機能からの分析～ …131  
 伊藤 太枝子<sup>1</sup> (いとう たえこ)、佐島 毅<sup>2</sup>、原口 小菜恵<sup>3</sup>、若命 裕史<sup>3</sup>、飯田 瑞穂<sup>3</sup>、  
 坂本 修平<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 国際医療福祉大学成田病院リハビリテーションセンター、<sup>2</sup> 筑波大学人間系、  
<sup>3</sup> 横須賀市立市民病院リハビリテーション療法科

## 一般演題 21：心理社会的介入

- 21-1 包括的な神経心理学的リハビリテーションプログラムの実施経験 ……………132  
 青木 重陽<sup>1</sup> (あおき しげはる)、福井 遼太<sup>1</sup>、日比 洋子<sup>1</sup>、殿村 暁<sup>2</sup>、永井 喜子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション科、  
<sup>2</sup> 神奈川リハビリテーション病院心理科、<sup>3</sup> 神奈川リハビリテーション病院総合相談室
- 21-2 OZC のワークアウトと行動分類により脳損傷理解が促進した症例報告 ……………132  
 堀越 歩 (ほりこし あゆみ)  
 西仙台病院臨床心理室
- 21-3 外傷性脳損傷に対する長期的支援について一日課・対処行動・気づきの視点からアプローチ  
 を展開した症例— ……………133  
 殿村 暁<sup>1</sup> (とのむら さとる)、青木 重陽<sup>2</sup>、露木 拓将<sup>3</sup>、松元 健<sup>3</sup>、白川 大平<sup>1</sup>、  
 中澤 若菜<sup>4</sup>、永井 喜子<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 神奈川リハビリテーション病院心理科、  
<sup>2</sup> 神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup> 神奈川リハビリテーション病院職能科、<sup>4</sup> 神奈川リハビリテーション病院総合相談室
- 21-4 演題取り下げ
- 21-5 脳外傷背景にアルコール依存症を持つ 50 代男性へのチーム医療におけるプログラム構築と支援  
 ……………134  
 有賀 美紀 (ありが みき)、竹内 正人  
 医療法人社団城東桐和会タムス浦安病院

## 一般演題 22：ADL

- 22-1 急性期脳卒中患者における日常生活動作の自立度に関連する要因の検討 ……………134  
 宮内 貴之<sup>1,3</sup> (みやうち たかゆき)、佐々木 祥太郎<sup>1</sup>、佐々木 洋子<sup>1</sup>、最上谷 拓磨<sup>1</sup>、  
 榊原 陽太郎<sup>1,2</sup>、白濱 勲<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院脳神経外科、  
<sup>3</sup> 神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉学研究科
- 22-2 当院における脳血管障害患者の歩行自立度と神経心理学的検査との関係 ……………135  
 岡元 信弥<sup>1</sup> (おかもと しんや)、佐藤 晃<sup>1</sup>、早野 充浩<sup>1</sup>、長野 友里<sup>2</sup>、西出 有輝子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院理学療法科、  
<sup>2</sup> 名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院臨床心理科
- 22-3 脳卒中後の高次脳機能障害による失禁 ……………135  
 船山 道隆<sup>1</sup> (ふなやま みちたか)、是木 明宏<sup>2</sup>、黒瀬 心<sup>1</sup>、三村 將<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 足利赤十字病院神経精神科、<sup>2</sup> 国立病院機構下総精神医療センター、  
<sup>3</sup> 慶應義塾大学医学部精神・神経科

## 一般演題 23：運転障害

- 23-1 認知訓練と自動車運転シミュレーターを併用し自動車運転再開に至った脳血管疾患症例 …136  
福田 友美<sup>1</sup> (ふくだ ともみ)、川満 しおり<sup>1</sup>、遠藤 崇<sup>1</sup>、中田 浩一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 社会福祉法人柏芳会田川新生病院リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 社会福祉法人柏芳会田川新生病院介護部
- 23-2 当法人における自動車運転再開に向けた支援について～実車評価を複数回実施した症例の後方視的検討～ ……………136  
野村 心 (のむら しん)、岡本 和也、河野 大輔、青野 只明、長岡 博志  
社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター
- 23-3 ドライブシミュレーターを用いた脳損傷後の運転再開評価 ……………137  
山里 道彦<sup>1,2</sup> (やまさと みちひこ)、舟木 一樹<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 筑波記念病院精神科、<sup>2</sup> 水戸北水会記念病院脳神経外科、  
<sup>3</sup> 水戸北水会記念病院リハビリテーション科
- 23-4 予測に反して自動車運転に問題がみられた2症例：高次脳機能障害の視点から ……………137  
沼田 歩<sup>1</sup> (ぬまた あゆみ)、豊倉 穰<sup>2</sup>、鈴木 美幸<sup>1</sup>、藤田 隆史<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 一財) 太田総合病院附属太田熱海病院作業療法科、  
<sup>2</sup> 東海大学大磯病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup> 一財) 太田総合病院附属太田熱海病院リハビリテーション科

## 一般演題 24：社会支援

- 24-1 急性期・回復期の高次脳機能障害の子どもをもつ保護者の支援ニーズ ……………138  
廣瀬 綾奈<sup>1</sup> (ひろせ あやな)、中島 友加<sup>2</sup>、小倉 由紀<sup>3</sup>、湧井 敦子<sup>4</sup>、太田 令子<sup>5</sup>、  
片桐 伯真<sup>6</sup>  
<sup>1</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター小児言語聴覚科、  
<sup>2</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター心理発達科、  
<sup>3</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター更生園、  
<sup>4</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター診療部、  
<sup>5</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター高次脳機能障害支援アドバイザー、  
<sup>6</sup> 聖隷三方原病院リハビリテーション科
- 24-2 小児期発症の高次脳機能障害児／者のメンタルヘルス ……………138  
玉井 創太<sup>1</sup> (たまい そうた)、東海林 大樹<sup>1</sup>、野路井 美穂<sup>1</sup>、白井 理水<sup>1</sup>、  
上野 未由希<sup>1</sup>、緑川 晶<sup>1,2</sup>、高岡 徹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 横浜市総合リハビリテーションセンター、<sup>2</sup> 中央大学
- 24-3 生活期失語症者に生ずる不適応とその後の経過 ……………139  
守屋 咲希<sup>1</sup> (もりや さき)、種村 純<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 川崎医科大学総合医療センターリハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup> 川崎医療福祉大学言語聴覚学科

- 24-4 メトトレキサート白質脳症により多彩な高次脳機能障害を呈した症例—回復期における家族支援に着目して— ……………139  
 西田 野百合<sup>1</sup> (にしだ のゆり)、山脇 理恵<sup>1</sup>、押 沙織<sup>1</sup>、田中 かなで<sup>1</sup>、平松 英文<sup>2</sup>、池口 良輔<sup>1,3</sup>、松田 秀一<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup> 京都大学医学部附属病院リハビリテーション部、<sup>2</sup> 京都大学医学部附属病院小児科、<sup>3</sup> 京都大学大学院医学研究科整形外科学
- 24-5 高次脳機能障害に関する効果的な啓発活動の検討  
 ～北海道中空知地方における啓発活動の一例～ ……………140  
 浅野 友佳子<sup>1</sup> (あさの ゆかこ)、荒井 裕香利<sup>2</sup>、嶋崎 静子<sup>2</sup>、中畑 佐和子<sup>3</sup>、中村 充雄<sup>4</sup>、中村 眞理子<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 文屋内科消化器科医院訪問リハビリテーションらいらっく、<sup>2</sup> 滝川保健所、<sup>3</sup> 上川保健所、<sup>4</sup> 札幌医科大学保健医療学部

一般演題 25：職業

- 25-1 回復期リハビリテーション病棟における高次脳機能障害者に対するリハ就労面談の取り組み ……………140  
 須江 慶太<sup>1</sup> (すえ けいた)、小岩 朝美<sup>2</sup>、野川 貴史<sup>3</sup>、織 哲也<sup>4</sup>、大澤 道彦<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>JA 長野厚生連鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院理学療法科、<sup>2</sup>JA 長野厚生連鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院医療社会事業科、<sup>3</sup>JA 長野厚生連鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院心理療法科、<sup>4</sup>JA 長野厚生連鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院作業療法科、<sup>5</sup>JA 長野厚生連鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院脳神経外科
- 25-2 脳損傷者への就労支援—作業療法士による支援技法— ……………141  
 栗原 良子<sup>1</sup> (くりはら りょうこ)、長尾 徹<sup>2</sup>、種村 留美<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 神戸大学大学院保健学研究科博士後期課程、<sup>2</sup> 神戸大学生命・医学系保健学域
- 25-3 外傷性脳損傷後、家族の支援があり早期に自宅退院した症例の復職に至る支援経過 ……141  
 塩屋 博史<sup>1,2</sup> (しおや ひろし)、北野 多重<sup>1</sup>、岡部 伸太郎<sup>1</sup>、崔 雅絹<sup>1</sup>、上田 剛裕<sup>1</sup>、三上 泉<sup>1</sup>、辻野 精一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 大阪急性期・総合医療センターリハビリテーション科、<sup>2</sup> 大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科
- 25-4 脳卒中の両立支援における当院の両立支援科の取り組み ……………142  
 中藤 麻紀<sup>1</sup> (なかふじ まき)、濱田 学<sup>2</sup>、橋本 博興<sup>3</sup>、加藤 徳明<sup>4</sup>、立石 清一郎<sup>5</sup>、佐伯 覚<sup>6</sup>  
<sup>1</sup> 産業医科大学病院医療支援課、<sup>2</sup> 産業医科大学病院リハビリテーション部、<sup>3</sup> 産業医科大学病院両立支援科、<sup>4</sup> 産業医科大学リハビリテーション医学講座、<sup>5</sup> 産業医科大学両立支援科学講座、<sup>6</sup> 産業医科大学リハビリテーション医学講座
- 25-5 高次脳機能障害者の復職と障害認識について ……………142  
 野路井 未穂<sup>1</sup> (のじい みほ)、玉井 創太<sup>1</sup>、緑川 晶<sup>1,3</sup>、白井 理水<sup>1</sup>、上野 未由希<sup>1</sup>、高岡 徹<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 横浜市総合リハビリテーションセンター機能訓練課、<sup>2</sup> 横浜市総合リハビリテーションセンターリハビリテーション科、<sup>3</sup> 中央大学文学部

- 25-6 高次脳機能障害者の就労における Self-awareness と知的機能との関連について ……143  
 東 優奈<sup>1</sup> (あずま ゆうな)、八重田 淳<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 医療法人敬愛会リハビリテーション天草病院、  
<sup>2</sup> 筑波大学大学院人間総合科学学術院リハビリテーション科学

一般演題 26：社会調査

- 26-1 指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所における高次脳機能障害者・児への  
 支援状況調査 ……143  
 今橋 久美子<sup>1</sup> (いまはし くみこ)、立石 博章<sup>2</sup>、小西川 梨紗<sup>3</sup>、宮川 和彦<sup>3,4</sup>、  
 コワリック 優香<sup>4</sup>、森下 英志<sup>2</sup>、粉川 貴司<sup>2</sup>、平山 信夫<sup>2</sup>、深津 玲子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 国立障害者リハビリテーションセンター、<sup>2</sup> 東京都心身障害者福祉センター、  
<sup>3</sup> 滋賀県高次脳機能障害支援センター、<sup>4</sup> 滋賀県立むれやま荘
- 26-2 千葉県における高次脳機能障害者支援実態及び要望調査に関する報告 ……144  
 田中 葉子<sup>1</sup> (たなか ようこ)、揚戸 薫<sup>1</sup>、荒井 陽子<sup>1</sup>、小倉 由紀<sup>2</sup>、長谷川 純子<sup>1</sup>、  
 菊地 尚久<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター高次脳機能障害支援センター、  
<sup>2</sup> 障害者支援施設更生園、<sup>3</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター診療部
- 26-3 鳥取県在住失語症者の介護保険サービス利用実態調査 ……144  
 小谷 優平<sup>1,2</sup> (こだに ゆうへい)、種村 純<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 社会福祉法人こうほうえん介護老人保健施設さかい幸朋苑、  
<sup>2</sup> 川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究科感覚矯正学先行修士課程、  
<sup>3</sup> 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科

※下記プログラムもオンデマンド配信で視聴いただけます。

学会認定資格「臨床神経心理士」について

佐藤 睦子

日本高次脳機能障害学会「臨床神経心理士資格認定委員会」委員長

**トピックセミナー 1**

「脳梗塞再発予防のための抗血栓療法」

演者 八木田佳樹 (川崎医科大学 脳卒中医学教室)

共催 バイエル薬品株式会社

**トピックセミナー 2 ※オンデマンド配信期間限定 11月22日(日) 12:00~13:00**

「認知症とてんかん」

演者 久徳 弓子 (川崎医科大学 神経内科学)

共催 エーザイ株式会社

**トピックセミナー 3**

「An introduction to RehaCom. Personal experience of US Psychologist Al Borelli.」

演者 Peter C Entwistle (Pearson Clinical Assessments)

演者紹介 片山 貴文 (キッセイコムテック株式会社)

共催 キッセイコムテック株式会社

**トピックセミナー 4**

「経頭蓋直流電気刺激の基礎と臨床応用の可能性—運動・感覚・高次脳機能障害へのアプローチ」

演者 山口 智史 (順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科)

座長 浅見 菜子 (オージー技研株式会社)

共催 オージー技研株式会社

**漢方教育セミナー ※オンデマンド配信期間限定 11月20日(金) 12:00~11月27日(金) 12:00**

「認知症治療における漢方薬の位置づけ」

演者 和田 健二 (川崎医科大学 認知症学教室)

共催 株式会社ツムラ